

消 防 年 報

令 和 5 年 版



【春】 フォリストパーク（軽米町）



【夏】 折爪岳のヒメボタル（九戸村）



【秋】 御所野縄文公園（一戸町）



【冬】 県立自然公園馬仙峡（二戸市）

令 和 6 年 刊 行



二戸地区広域行政事務組合消防本部

は し が き

この消防年報は、令和5年中における二戸地区広域行政事務組合管内の消防業務及び消防諸般の状況を収録し、今後の消防行政運営上の参考に資するために編さんしたものであります。

また、消防事情を広く紹介し、消防行政に対する理解とご支援を賜りますとともに地域防災への指針として活用していただければ幸甚に存じます。

令和6年8月

二戸地区広域行政事務組合消防本部

目 次

◇ 概 要

1	二戸広域消防のあゆみ	1
2	二戸広域管内の概況	9
	(1) 構成市町村の人口等	10
	(2) 消防庁舎一覧表	10
3	組織	11
4	消防相互応援協定	
	(1) 消防相互応援協定に関する協定	12
	(2) 東北自動車道及び八戸自動車道消防相互応援協定	12
	(3) 八戸自動車道消防相互応援協定	12
	(4) 救急医療情報システム運用に関する確認	12
	(5) 岩手県防災ヘリコプター応援協定	12
5	歴代消防長	13
6	歴代消防署長	13
7	予防	
	(1) 防火対象物	14
	(2) 建築同意	15
	(3) 消防用設備等（特殊消防用設備等）	16
	(4) 防火対象物定期点検報告制度	17
	(5) 危険物施設	18
	(6) 自主防災組織	20
8	警防	
	(1) 消防車両の配置状況	21
	(2) 通信施設	21
	(3) 消防水利	22
9	火災	
	(1) 出火件数	23
	(2) 焼損面積及び損害額	24

(3) 死傷者	25
(4) 出火原因	25

10 救急

(1) 出動件数及び搬送人員	26
(2) 事故種別ごとの出動件数	27
(3) 事故種別ごとの搬送人員	28
(4) 八戸自動車道における救急出動状況	29

11 救助

(1) 出動件数及び救助人員	30
(2) 事故種別ごとの救助出動件数	31
(3) 事故種別ごとの救助人員	32

◇ 資 料

令和5年度中の主要行事	33
-------------------	----

<総務編>

消防職員数	35
職員研修・資格講習	35
消防表彰受章者	35
消防職員の配置状況	36
階級・年齢別、在職年数別職員数	37
職員の資格取得状況	38

<予防編>

防火対象物の状況	39
署分署別建築同意状況	40
中高層建築物の用途別の状況	41
消防用設備等（特殊消防用設備）の設置届出状況	42
防火対象物定期点検報告制度の状況	43
危険物施設の状況	44
自主防災組織の状況	45

<警防編>

通信施設等の状況	46
消防車両等の現有状況	47
火災による損害状況	48

災害通報等受付件数	48
時間別・曜日別火災発生状況	49
焼損面積 300 平方メートル以上の建物火災状況（過去 10 年間）	50
焼損面積 100 アール以上の林野火災状況	51

<救急編>

年別救急出動状況（過去 10 年間）	52
月別・曜日救急出動状況	53
年齢区分・傷病程度別搬送人員状況	54
管轄する高速自動車道の概要	55
高速自動車道における事故等の発生状況	55
高速自動車道における救急活動状況（過去 10 年間）	56

<救助編>

年別救助活動状況（過去 10 年間）	57
署分署別救助活動状況	58
事故発生場所別救助活動状況	59
署分署別救助出動人員状況	60
署分署別救助活動人員状況	61

概 要



【浄法寺漆・二戸市】

二戸市は、国産漆の約7割を生産している日本一の漆の産地です。浄法寺漆は生産量の多さだけでなく、良質な漆として知られ、世界遺産に登録されている中尊寺金色堂、日光東照宮をはじめ国宝、重要文化財などに使用されています。（二戸市観光協会 HP から抜粋）

1 二戸広域消防のあゆみ

年 月	記 事
昭和 36年 4月	福岡町消防団常備部を設置する。
40年 4月	一戸町消防団常備部を設置する。
47年 4月	二戸市制施行に伴い、福岡町消防団常備部を二戸市消防団常備部とし、消防ポンプ自動車1台、救急車1台及び司令車1台の計3台を保有する。(部長以下10名) 一戸町消防団常備部は、消防ポンプ自動車1台、救急車1台及び連絡車1台の計3台を保有する。(班長以下11名)
48年 3月	二戸市消防本部及び二戸市消防署庁舎新築工事が完了、消防ポンプ自動車2台を購入する。
4月	二戸市消防団常備部を廃止し、二戸市消防本部及び二戸市消防署を設置する。消防職員8名を増員し、消防本部2名、消防署17名、計19名で発足、さらに1名を増員し、消防職員20名となる。
5月	消防職員1名を採用する。(実員21名)
6月	事務職員を1名採用し二戸市消防本部に配属する。(実員22名)
49年 4月	岩手県農業共済組合連合会から救急車1台が寄贈され、二戸市消防署に配置する。広域行政の一環として消防に関する事務を共同処理するため、二戸市消防本部並びに二戸市消防署及び一戸町消防団常備部を廃止し、新たに二戸市、一戸町、軽米町、浄法寺町及び九戸村の5市町村を管轄する、二戸地区広域行政事務組合消防本部を設立する。併せて職員定数条例を改正して消防機関定数を70名とし、消防本部2名、二戸消防署22名、一戸分署15名、軽米分署7名、浄法寺分署8名及び九戸分署5名、計59名で発足する。 二戸消防署に消防ポンプ自動車2台、救急車1台、司令車1台並びに一戸分署に消防ポンプ自動車1台、救急車1台、連絡車1台を配備する。 初代消防長に中村善兵衛氏(二戸市助役兼務)が就任する。
8月	消防職員4名を採用する。(実員63名)
10月	消防ポンプ自動車3台を購入し、軽米分署、浄法寺分署及び九戸分署に各1台を配備する。
12月	司令車、連絡車各1台を購入し、それぞれ消防本部、九戸分署に配備する。 浄法寺分署庁舎新築工事が完了する。
50年 1月	日本損害保険協会より救急車1台が寄贈され、軽米分署に配備する。 九戸分署庁舎新築工事が完了する。
3月	消防職員1名を採用する。(実員64名) 軽米分署車庫新築工事が完了する。
4月	第2代消防長に久保田喜一郎氏(二戸市派遣)が就任する。 職員定数条例を改正して消防機関定数79名とし、消防職員11名を採用する。(実員75名)

年 月	記 事
昭和 50年 9月	岩手県農業共済組合連合会より救急車2台が寄贈され、浄法寺分署、九戸分署に各1台を配備する。
11月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台が寄贈され、二戸消防署に配備する。
51年 3月	連絡車1台を購入し浄法寺分署に配備する。
11月	軽米分署庁舎新築工事が完了する。
52年 5月	連絡車1台を購入し二戸消防署に配備する。
8月	岩手県農業共済組合連合会より救急車1台が寄贈され、一戸分署に更新配備する。
53年 7月	連絡車1台を購入し軽米分署に配備する。
54年 4月	二戸消防署簡易救助訓練施設が完成する。
11月	消防職員5名を採用する。(実員79名)
12月	一戸分署庁舎新築工事が完了する。
55年 11月	職員定数条例を改正して消防機関定数を81名とする。
56年 4月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し一戸分署に配備する。
5月	職員定数条例を改正して消防機関定数を85名とし、消防職員6名を採用する。(実員83名)
9月	連絡車1台を購入し一戸分署に更新配備する。
57年 4月	日本消防協会より救急車1台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
9月	消防職員1名を採用する。(実員83名)
58年 4月	消防ポンプ自動車1台を購入し一戸分署に更新配備する。
59年 4月	職員定数条例を改正して消防機関定数を88名とし、消防職員4名を採用する。(実員86名)
60年 4月	消防職員1名を採用する。(実員87名)
61年 4月	第3代消防長に佐々木新一氏(二戸市派遣)が就任する。
12月	消防職員1名を採用する。(実員88名)
62年 3月	二戸地区空中消火等補給基地が完成する。
4月	日本消防協会から救急車1台が寄贈され、一戸分署に更新配備する。
8月	職員定数条例を改正して消防機関定数を90名とし、消防職員2名を採用する。(実員89名)
10月	司令車1台を購入し消防本部に配備する。
12月	救急車1台を購入し軽米分署に更新配備する。
63年 4月	消防用短波無線電話装置基地局を設置する。
10月	職員定数条例を改正して消防機関定数を91名とし、消防職員4名を採用する。(実員91名)
平成 元年 4月	救急車1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
	職員定数条例を改正して消防機関定数を92名とし、消防職員5名を採用する。(実員92名)

年 月	記 事
平成 元年 8 月	日本消防協会より救急車 1 台が寄贈され、九戸分署に更新配備する。
10 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
2 年 2 月	4 週 6 休制を実施する。
4 月	岩手県消防学校に主任消防教官として 1 名を派遣する。(平成 4 年 3 月まで)
7 月	連絡車 1 台を購入し九戸分署に更新配備する。
9 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
10 月	日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車 1 台が寄贈され、二戸消防署に配備する。
12 月	4 週 8 休制(土曜閉庁)を実施する。
3 年 1 月	山之内製薬株式会社より救急車 1 台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
3 月	二戸消防署車庫増築工事が完了する。
6 月	連絡車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
10 月	浄法寺分署車庫増築工事が完了する。
11 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し九戸分署に更新配備する。
4 年 4 月	第 4 代消防長に小川吉亮氏(二戸市派遣)が就任する。 消防職員 3 名を採用する。(実員 92 名)
8 月	連絡車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
9 月	司令車 1 台を購入し消防本部に更新配備する。 二戸消防署救助訓練施設の拡張整備が完了する。
11 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し浄法寺分署に配備する。 二戸市から公用車の無償譲渡を受け、消防本部に配備する。
12 月	一戸分署倉庫新築工事が完了する。
5 年 3 月	安田生命保険相互会社から救急車 1 台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 97 名とし、消防職員 5 名を採用する。 (実員 97 名)
7 月	日本防火協会から防火広報車 1 台が寄贈され、消防本部に配備する。
9 月	完全週休二日制を実施する。 連絡車 1 台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
11 月	消防職員 1 名を採用する。(実員 97 名)
6 年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 104 名とし、消防職員 4 名を採用する。 (実員 100 名)
7 年 4 月	消防職員 3 名を採用する。(実員 102 名)
11 月	救急業務の高度化推進に伴い、1 名が救急救命士免許を取得する。
8 年 1 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
3 月	屈折はしご付消防自動車 1 台を購入し消防本部に配備する。
4 月	消防職員 4 名を採用する。(実員 104 名)

年 月	記 事
平成 8 年 8 月	岩手県防災航空隊発足に伴い、職員 1 名を同隊に派遣する。（平成 11 年 3 月まで）
1 1 月	消防本部の組織改編を実施し、2 課 4 係体制とする。
1 2 月	救急車 2 台を購入し、軽米分署、九戸分署に各 1 台を更新配備する。
9 年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 115 名とし、消防職員 3 名を採用する。 （実員 107 名）
5 月	救急救命士免許取得者 2 名となる。
1 2 月	救急救命士免許取得者 3 名となる。
1 0 年 1 月	第 5 代消防長に佐々木正勝氏（二戸市派遣）が就任する。
2 月	高規格救急車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
4 月	消防職員 3 名を採用する。（実員 108 名） 携帯電話からの 119 番通報受信装置の運用を開始する。
6 月	二戸地区空中消火等補給基地の一部に舗装を施工し、ポンプ操法訓練場として運用を開始する。
8 月	二戸市の緊急通報システム運用に伴う受信装置の運用を開始する。
1 1 月	救急救命士免許取得者 4 名となる。
1 1 年 2 月	救助工作車（Ⅱ型）1 台を購入し消防本部に配備する。
4 月	消防職員 4 名を採用する。（実員 110 名）
5 月	救急救命士免許取得者 5 名となる。
1 1 月	救急救命士免許取得者 6 名となる。
1 2 年 1 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
4 月	消防職員 2 名を採用する。（実員 112 名） 岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。（平成 15 年 3 月まで）
5 月	救急救命士免許取得者 7 名となる。 指揮車、連絡車各 1 台を購入し、それぞれ二戸消防署、九戸分署に更新配備する。 また、資機材搬送車 1 台を購入し消防本部に配備する。
1 3 年 1 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
7 月	二戸市から中型バス 1 台の無償譲渡を受け、消防本部に配備する。
9 月	高規格救急車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
1 1 月	救急救命士免許取得者 9 名となる。
1 4 年 4 月	消防職員 2 名を採用する。（実員 113 名）
1 1 月	救急救命士免許取得者 11 名となる。
1 2 月	高規格救急車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
1 5 年 4 月	第 6 代消防長に久保田孝男氏（二戸市派遣）が就任する。 消防職員 2 名を採用する。（実員 112 名）
1 1 月	救急救命士免許取得者 12 名となる。

年 月	記 事
平成 15年 12月	高規格救急車1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
16年 4月	消防職員3名を採用する。(実員111名) 救急救命士免許取得者13名となる。
8月	連絡車1台を購入し消防本部に更新配備する。
11月	救急救命士免許取得者14名となる。
12月	消防大学校専科教育救助科(第51期)を1名修了する。 高規格救急車1台を購入し九戸分署に更新配備する。
17年 4月	救急救命士免許取得者15名となる。
5月	救急救命士処置拡大により、気管挿管講習(未修了者対象)を開始する。
11月	救急救命士免許取得者16名となる。
12月	消防大学校専科教育予防科(第78期)を1名修了する。
18年 4月	消防職員1名を採用する。(実員110名) 救急救命士免許取得者17名となる。 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。(平成21年3月まで)
8月	消防大学校専科教育火災調査科(第11期)を1名修了する。
12月	救急救命士処置拡大により、薬剤投与講習(未修了者対象)を開始する。
19年 3月	司令車1台を購入し消防本部に更新配備する。
4月	救急救命士免許取得者18名となる。
8月	消防大学校専科教育警防科(第81期)を1名修了する。
10月	連絡車1台を購入し一戸分署に更新配備する。
11月	高規格救急車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
20年 4月	第7代消防長に木村貢氏が就任する。 消防職員2名を採用する。(実員107名) 救急救命士免許取得者19名となる。
8月	連絡車1台を購入し軽米分署に更新配備する。
21年 4月	第8代消防長に田村利明氏が就任する。 消防本部及び消防署の組織改編を実施し、2課5係及び1署4係体制とする。 消防職員4名を採用する。(実員108名) 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。(平成24年3月まで)
8月	連絡車1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
21年 11月	平成21年度岩手県総合防災訓練が二戸市で開催される。
22年 4月	消防職員4名を採用する。(実員109名)
5月	救急救命士免許取得者20名となる。
12月	消防大学校総合教育幹部科(第23期)を1名修了する。
23年 4月	第9代消防長に山田武實氏が就任する。 消防職員6名を採用する。(実員109名)

年 月	記 事
平成 23年 4月	救急救命士免許取得者 21名となる。
24年 4月	第10代消防長に目時栄氏（二戸市派遣）が就任する。 消防職員 6名を採用する。（実員 112名） 岩手県消防学校に主任消防教官として 1名を派遣する。（平成 26年 3月まで） 救急救命士免許取得者 22名となる。
12月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。 広報車 1台を購入し消防本部に配備する。
25年 3月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型） 1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
4月	消防職員 7名を採用する。（実員 112名） 救急救命士免許取得者 23名となる。 浄法寺分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。
9月	救急救命士処置拡大に伴う薬剤投与講習を全救急救命士が修了する。
11月	軽米分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。 浄法寺分署庁舎新築工事が始まる。 水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型） 1台を購入し軽米分署に更新配備する。 高規格救急車 1台を購入し一戸分署に更新配備する。
12月	消防大学校専科教育火災調査科（第 26期）を 1名修了する。 救助工作車（Ⅱ型）を購入し、消防本部に更新配備する。
26年 4月	消防職員 7名を採用する。（実員 114名） 救急救命士免許取得者 24名となる。 岩手県防災航空隊に職員 1名を派遣する。（平成 29年 3月まで）
5月	浄法寺分署庁舎新築工事が完了する。
6月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事及び軽米分署庁舎新築工事が始まる。 指導救命士養成研修（九州研修所）を 1名修了する。 救急救命士処置拡大 2項目講習（未修了者対象）を開始する。
8月	指導救命士養成研修（九州研修所）を 1名修了する。
9月	救急救命士処置拡大により、ビデオ喉頭鏡による気管挿管講習（未修了者対象）を開始する。
12月	消防大学校専科教育火災調査科（第 28期）を 1名修了する。 消防大学校実務講習違反是正特別講習（第 2回）を 1名修了する。
27年 1月	高規格救急車 1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
2月	軽米分署庁舎新築工事が完了する。
3月	消防大学校専科教育予防科（第 97期）を 1名修了する。 消防本部及び消防署の組織改編を実施し、2課 6係及び 1署 4係体制とする。
4月	消防職員 1名を採用する。（実員 114名） 救急救命士免許取得者 26名となる。

年 月	記 事
平成 27年 6月	消防大学校専科教育救助科（第71期）を1名修了する。
10月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事が完了する。
	消防大学校専科教育救急科（第77期）を1名修了する。
11月	消防本部併設二戸消防署新庁舎で業務を開始する。併せて高機能指令センター並びに消防救急デジタル無線の運用を開始する。
28年 1月	株式会社オノデラサインより事務連絡車1台が寄贈され、消防本部に配備する。
2月	高規格救急車1台を購入し軽米分署に更新配備する。
3月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し九戸分署に更新配備する。
4月	消防職員8名を採用する。（実員115名） 救急救命士免許取得者28名となる。
10月	高規格救急車1台を購入し九戸分署に更新配備する。
12月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
29年 4月	消防職員2名を採用する。（実員115名） 救急救命士免許取得者29名となる。
9月	救急救命士処置拡大2項目講習を全救急救命士が修了する。
10月	高規格救急車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
11月	広報車1台を購入し九戸分署に更新配備する。
30年 3月	消防ポンプ付大型水槽車1台を購入し消防本部に配備する。
4月	第11代消防長に田中長治氏が就任する。 消防職員2名を採用する。（実員115名） 救急救命士免許取得者32名となる。 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。（令和3年3月まで）
5月	消防大学校実務講習自主防災組織育成コース（第14回）を1名修了する。
12月	消防大学校専科教育火災調査科（第36期）を1名修了する。
31年 2月	消防ポンプ自動車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
4月	消防職員1名を採用する。（実員115名） 救急救命士免許取得者34名となる。
令和 元年 5月	消防大学校実務講習自主防災組織育成コース（第15回）を1名修了する。
6月	連絡車1台を購入し消防本部に更新配備する。
7月	救急救命士処置拡大に伴うビデオ喉頭鏡による気管挿管講習を全救急救命士が修了する。
8月	指導救命士養成研修（九州研修所）を1名修了する。
9月	広報車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
12月	水槽付ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し一戸分署に更新配備する。
2年 4月	第12代消防長に長興寺一弘氏が就任する。 消防職員4名を採用する。（実員115名）

年 月	事 記
令和 2 年 4 月	<p>救急救命士免許取得者 36 名となる。</p> <p>第98回全国消防長会技術委員会が当組合消防本部主催で開催される。 (新型コロナウイルス感染症が蔓延したことから、感染拡大防止の観点により書 面会議方式として開催し、当年5月25日審議結果を報告する。)</p>
6 月	救急救命士処置拡大に伴う気管挿管講習を全救急救命士が修了する。
8 月	九戸分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。
3 年 1 月	総務省消防庁より高機能救命ボートが貸与され、緊急消防援助隊使用物品として消防本部に配備する。
4 月	<p>第 13 代消防長に十文字英之氏が就任する。</p> <p>消防職員 4 名を採用する。(実員 115 名・うち再任用職員 1 名)</p> <p>救急救命士免許取得者 35 名となる。</p> <p>岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。(令和 6 年 3 月まで)</p>
5 月	九戸分署庁舎新築工事が始まる。
7 月	消防大学校専科教育危険物科(第 16 期)を 1 名修了する。
12 月	消防大学校専科教育警防科(第 109 期)を 1 名修了する。
4 年 3 月	九戸分署庁舎新築工事が完了する。
4 月	<p>消防職員 1 名を採用する。(実員 115 名・うち再任用職員 1 名)</p> <p>救急救命士免許取得者 36 名となる。</p> <p>県内 10 消防本部による「いわて消防通信指令事務協議会」の設立により、同協 議会推進室に職員 1 名を派遣する。(令和 7 年 3 月まで)</p>
7 月	<p>指導救命士養成研修(九州研修所)を 1 名修了する。</p> <p>消防大学校専科教育危険物科(第 17 期)を 1 名修了する。</p> <p>消防大学校総合教育幹部科(第 69 期)を 1 名修了する。</p>
5 年 4 月	<p>第 14 代消防長に脇澤忍が就任する。</p> <p>消防職員 6 名を採用する。(実員 115 名・うち再任用職員 2 名)</p> <p>救急救命士免許取得者 36 名となる。</p>
7 月	指導救命士養成研修(九州研修所)を 1 名修了する。
10 月	屈折はしご消防自動車を購入し消防本部に更新配備する。
11 月	一般財団法人救急振興財団より救急普及啓発広報車 1 台を寄贈され、消防本部に配備する。
6 年 3 月	<p>消防大学校専科予防科(第115期)を 1 名修了する。</p> <p>消防大学校専科新任教官科(第17期)を 1 名修了する。</p> <p>広報車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。</p> <p>高規格救急車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。</p>

2 二戸広域管内の概況

当広域圏は、北に青森県と接している岩手県の最北部に位置しており、平成18年1月の市町村合併を経て、現在は二戸市、軽米町、一戸町及び九戸村の1市2町1村で構成され、1本部1署4分署を配置しています。



(1) 構成市町村の人口等

令和6年4月1日現在

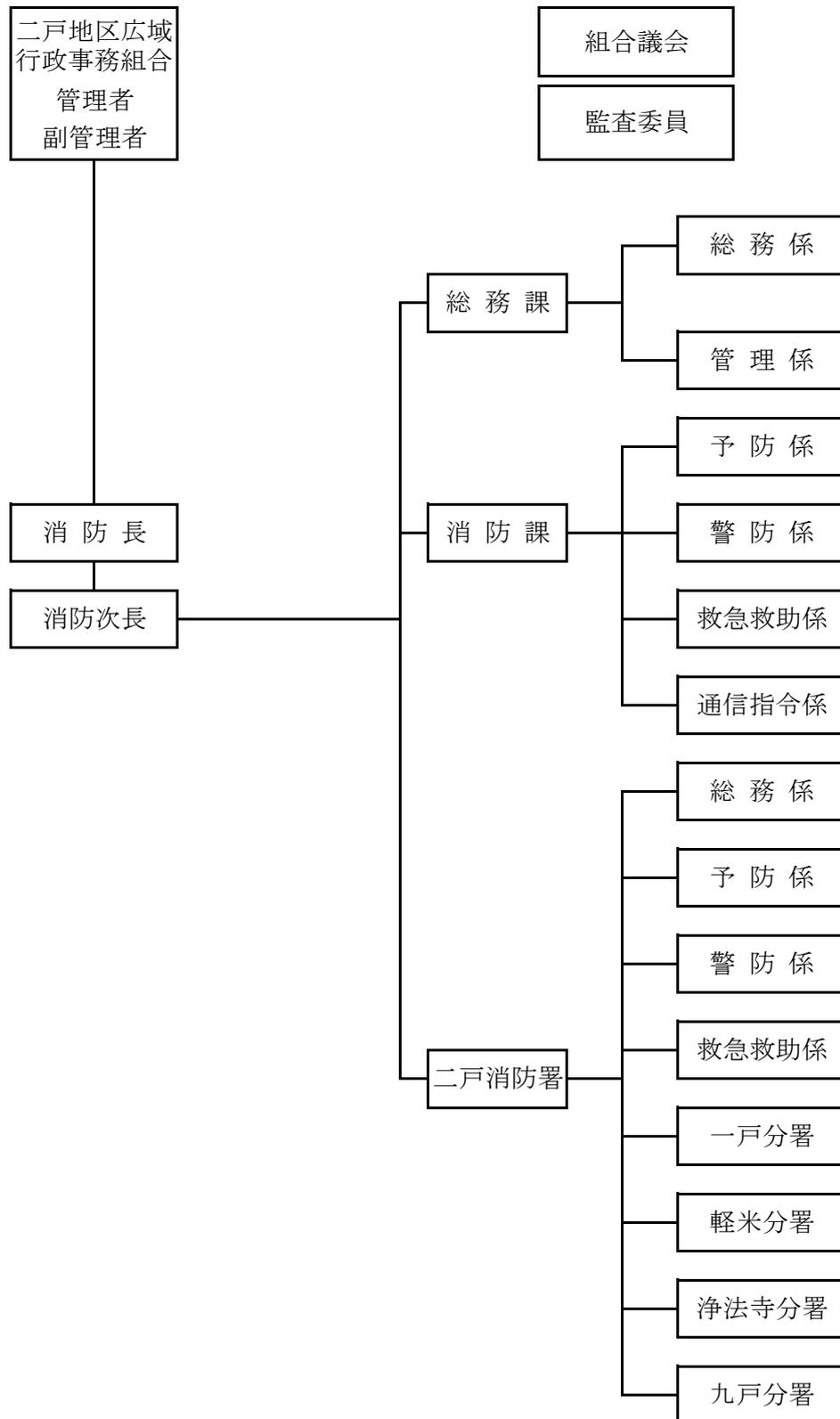
区分 市町村名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口密度 (人口/面積)
二戸市	24,412	11,657	420.42	58.07
一戸町	10,790	5,321	300.03	35.96
軽米町	8,036	3,684	245.82	32.69
九戸村	5,186	2,197	134.02	38.70
計	48,424	22,859	1,100.29	44.01

(2) 消防庁舎一覧表

区分	所在地	構造・階数	敷地面積	建築面積	竣工年月
				延面積	
消防本部 二戸消防署	〒028-5711 二戸市金田一字上田面300番地2 TEL 0195-26-8111	R C 造 2階建	9,211.470m ²	1,508.48m ²	H27.7新築
				2,402.48m ²	
一戸分署	〒028-5301 一戸町西法寺字関屋157番地1 TEL 0195-33-3119	R C 造 2階建	1,730.085m ²	359.47m ²	S54.11新築
				662.66m ²	
軽米分署	〒028-6302 軽米町大字軽米第3地割74番地1 TEL 0195-46-4119	R C 造 1階建	1,773.700m ²	542.09m ²	H27.3新築
				502.12m ²	
浄法寺分署	〒028-6854 二戸市浄法寺町下前田28番地2 TEL 0195-38-4119	鉄骨造 2階建	522.668m ²	331.65m ²	H26.5新築
				494.98m ²	
九戸分署	〒028-6502 九戸村大字伊保内第12地割65番地1 TEL 0195-42-3119	R C 造 2階建	3,425.035m ²	618.37m ²	R4.3新築
				688.44m ²	

3 組 織

二戸地区広域行政事務組合消防本部・消防署の組織



4 消防相互応援協定

(1) 消防相互応援協定に関する協定

団体名等	締結年月日
盛岡地区広域消防組合	締結改正
奥州金ヶ崎行政事務組合	締結 平成13年5月1日
一関市消防本部	全部改正 平成19年4月1日
大船渡地区消防組合	
遠野市消防本部	
宮古地区広域行政組合	
花巻市消防本部	
釜石大槌地区行政事務組合	
久慈広域連合	
陸前高田市消防本部	
北上地区消防組合	
(県外)	
八戸地域広域市町村圏事務組合	締結 平成11年4月1日

(2) 東北自動車道及び八戸自動車道消防相互応援協定

団体名等	締結年月日
盛岡地区広域消防組合	締結 昭和52年11月19日
奥州金ヶ崎行政事務組合	変更 昭和54年10月13日
一関市消防本部	変更 平成元年9月7日
花巻市消防本部	
北上地区消防組合	

(3) 八戸自動車道消防相互応援協定

団体名等	締結年月日
八戸地域広域市町村圏事務組合	締結 昭和61年11月27日

(4) 救急医療情報システム運用に関する確認

団体名等	締結年月日
八戸地域広域市町村圏事務組合	締結 平成元年12月8日
久慈広域連合	

(5) 岩手県防災ヘリコプター応援協定

団体名等	締結年月日
岩手県	締結 平成8年10月1日
岩手県内各市町村	
岩手県内各消防本部	

5 歴代消防長

区分	氏名	就任	退任	備考
初代	中村 善兵衛	S49. 4. 1	S50. 3. 31	二戸市助役兼務
2代	久保田 喜一郎	S50. 4. 1	S61. 3. 31	二戸市派遣
3代	佐々木 新一	S61. 4. 1	H 4. 3. 31	〃
4代	小川 吉亮	H 4. 4. 1	H 9. 12. 31	〃
5代	佐々木 正勝	H10. 4. 1	H15. 3. 31	〃
6代	久保田 孝男	H15. 4. 1	H20. 3. 31	〃
7代	木村 貢	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
8代	田村 利明	H21. 4. 1	H23. 3. 31	
9代	山田 武實	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
10代	目時 栄	H24. 4. 1	H30. 3. 31	二戸市派遣
11代	田中 長治	H30. 4. 1	R 2. 3. 31	
12代	長興寺 一弘	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
13代	十文字 英之	R 3. 4. 1	R 5. 3. 31	
14代	脇澤 忍	R 5. 4. 1	R 6. 3. 31	
15代	深田 泰之	R 6. 4. 1	在職中	

※ 昭和49年4月 二戸地区広域行政事務組合消防本部発足

6 歴代消防署長

区分	氏名	就任	退任	備考
初代	久保田 喜一郎	S49. 4. 1	S61. 3. 31	消防長兼務
2代	佐々木 新一	S61. 4. 1	S62. 3. 31	消防長兼務
3代	小川 吉亮	S62. 4. 1	H 4. 3. 31	消防次長兼務
4代	吉田 平悦	H 4. 4. 1	H 8. 3. 31	
5代	小川 吉亮	H 8. 4. 1	H 8. 10. 31	消防長、消防次長兼務
6代	東山 佐久三	H 8. 11. 1	H10. 3. 31	
7代	江六前 実	H10. 4. 1	H14. 3. 31	
8代	荒澤 作郎	H14. 4. 1	H18. 3. 31	
9代	橋本 信孝	H18. 4. 1	H19. 3. 31	
10代	田村 利明	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
11代	泉山 義夫	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
12代	山田 武實	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
13代	中村 英明	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
14代	角田 勇吉	H24. 4. 1	H26. 3. 31	
15代	佐々木 良雄	H26. 4. 1	H28. 3. 31	
16代	横浜 貞則	H28. 4. 1	H29. 3. 31	
17代	林 健一	H29. 4. 1	R 2. 3. 31	
18代	日山 智嘉雄	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
19代	横濱 勇悦	R 3. 4. 1	R 5. 3. 31	
20代	柴田 幸司	R 5. 4. 1	R 6. 3. 31	消防次長兼務
21代	新井田 均	R 6. 4. 1	在職中	消防次長兼務

※ 昭和49年4月 二戸地区広域行政事務組合 二戸消防署発足

7 予 防

(1) 防火対象物

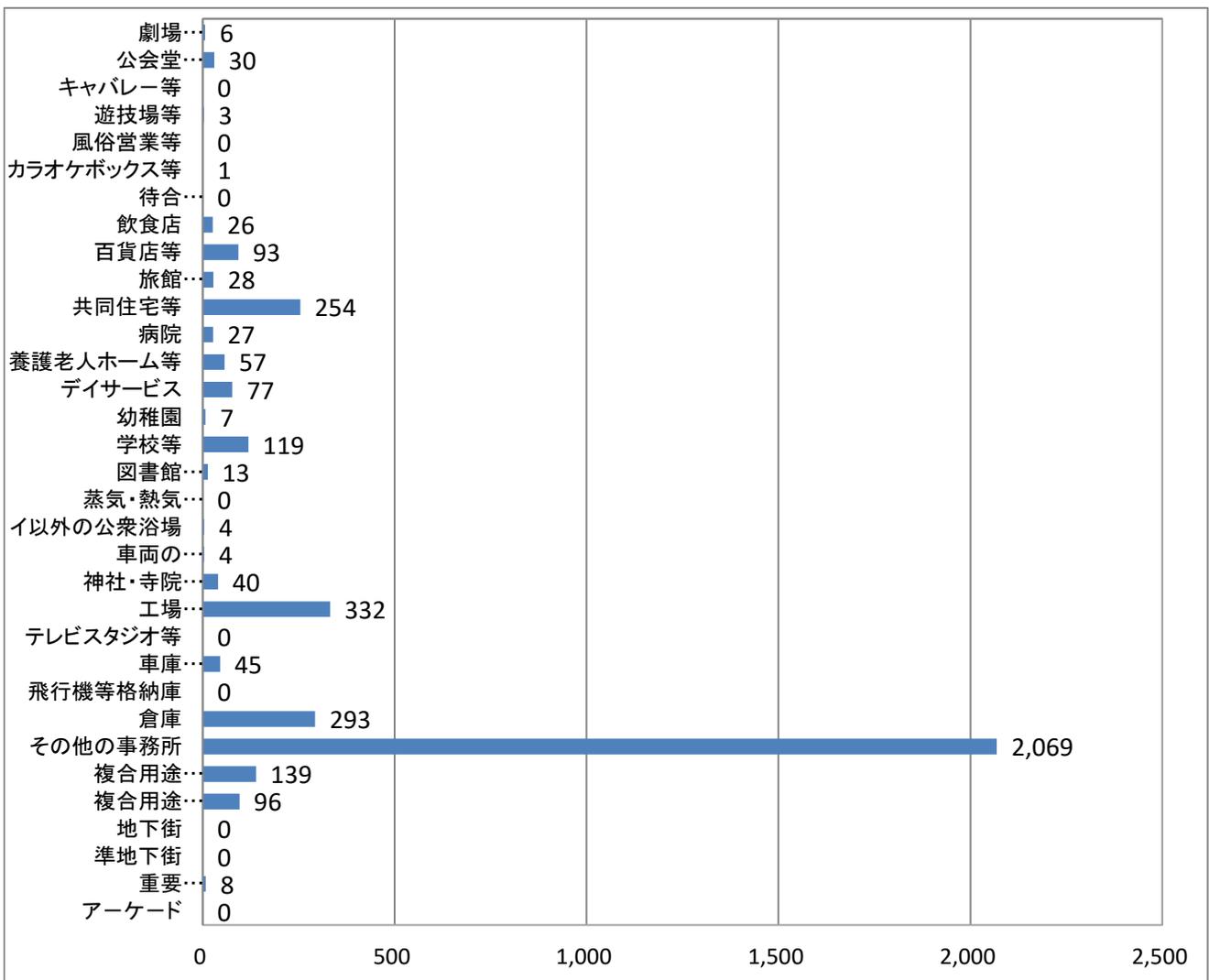
学校、病院、工場、事業場、百貨店、旅館、ホテル等の防火対象物は、3,771件であり、前年度に比べ7件の増加となっています。

市町村別の防火対象物数は、次のとおりです。

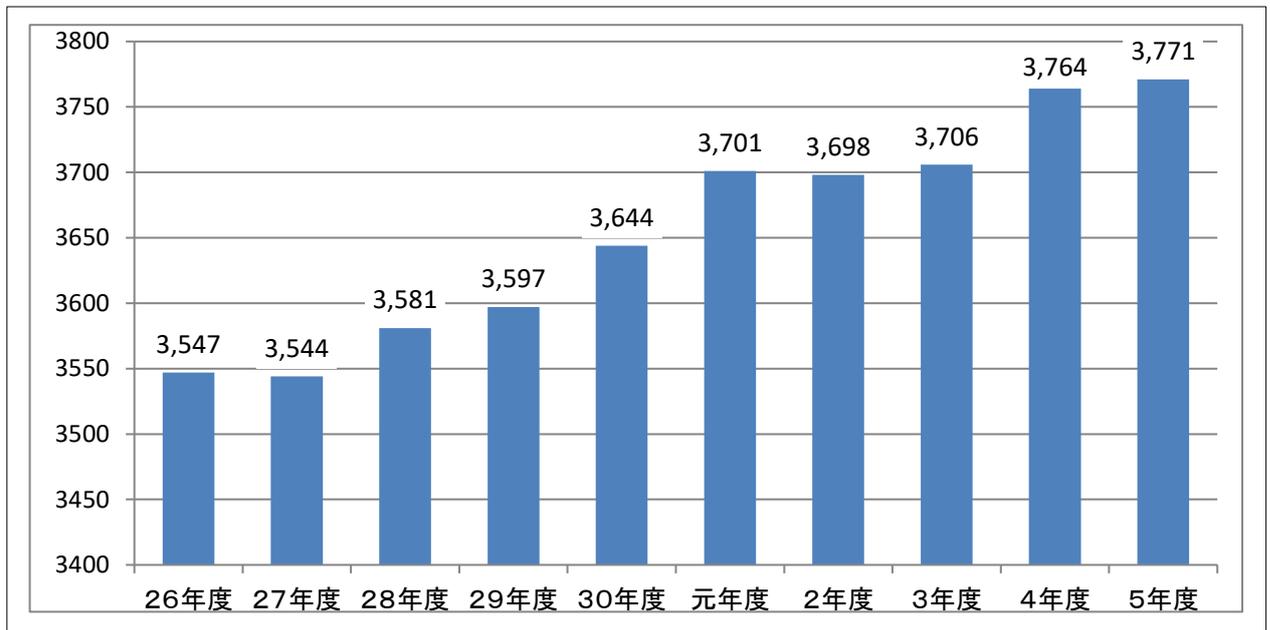
各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
5年度	1,459	845	729	738	3,771
4年度	1,467	844	715	738	3,764
増減	△ 8	1	14	0	7

防火対象物の内訳は、次のとおりです。



過去10年間の防火対象物数の推移は、次のとおりです。

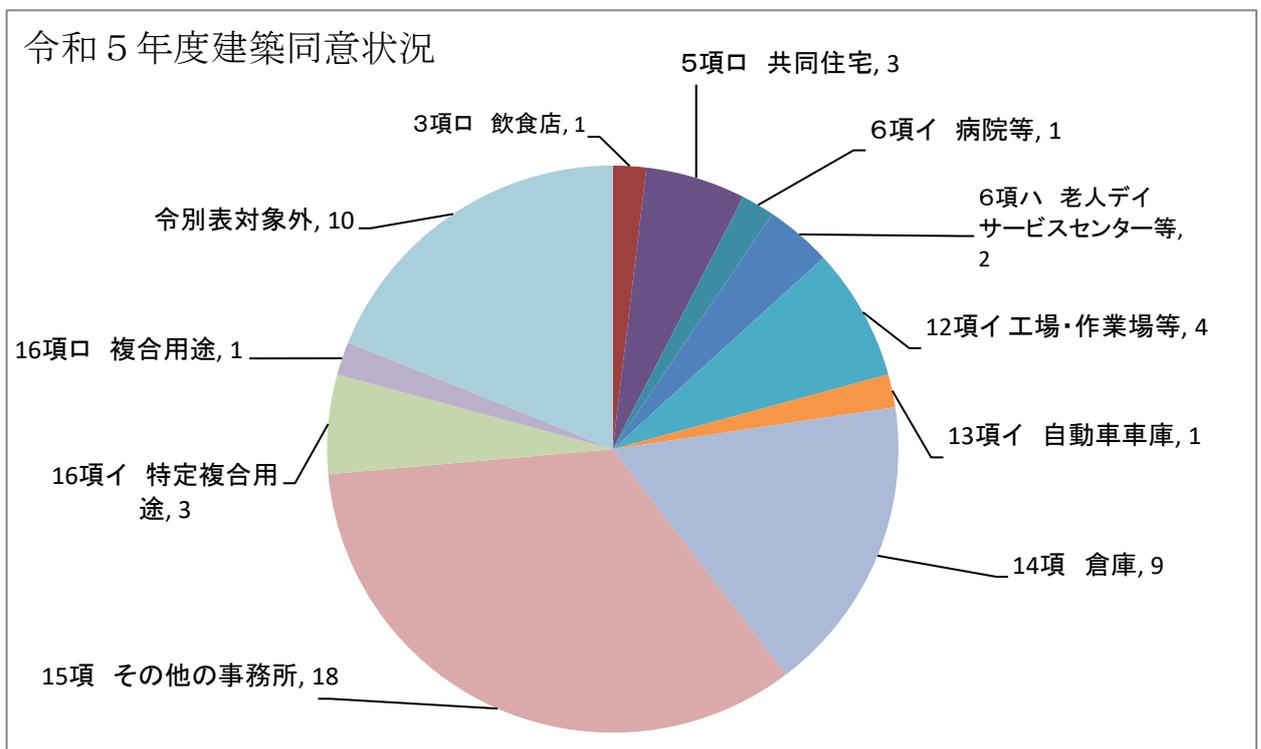


(2) 建築同意

新築、増築、改築等の建築同意件数は53件であり、前年度より5件の増加となっています。

市町村別の建築同意件数は、次のとおりです。

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
5年度	24	6	12	11	53
4年度	28	5	6	9	48
増減	△4	1	6	2	5



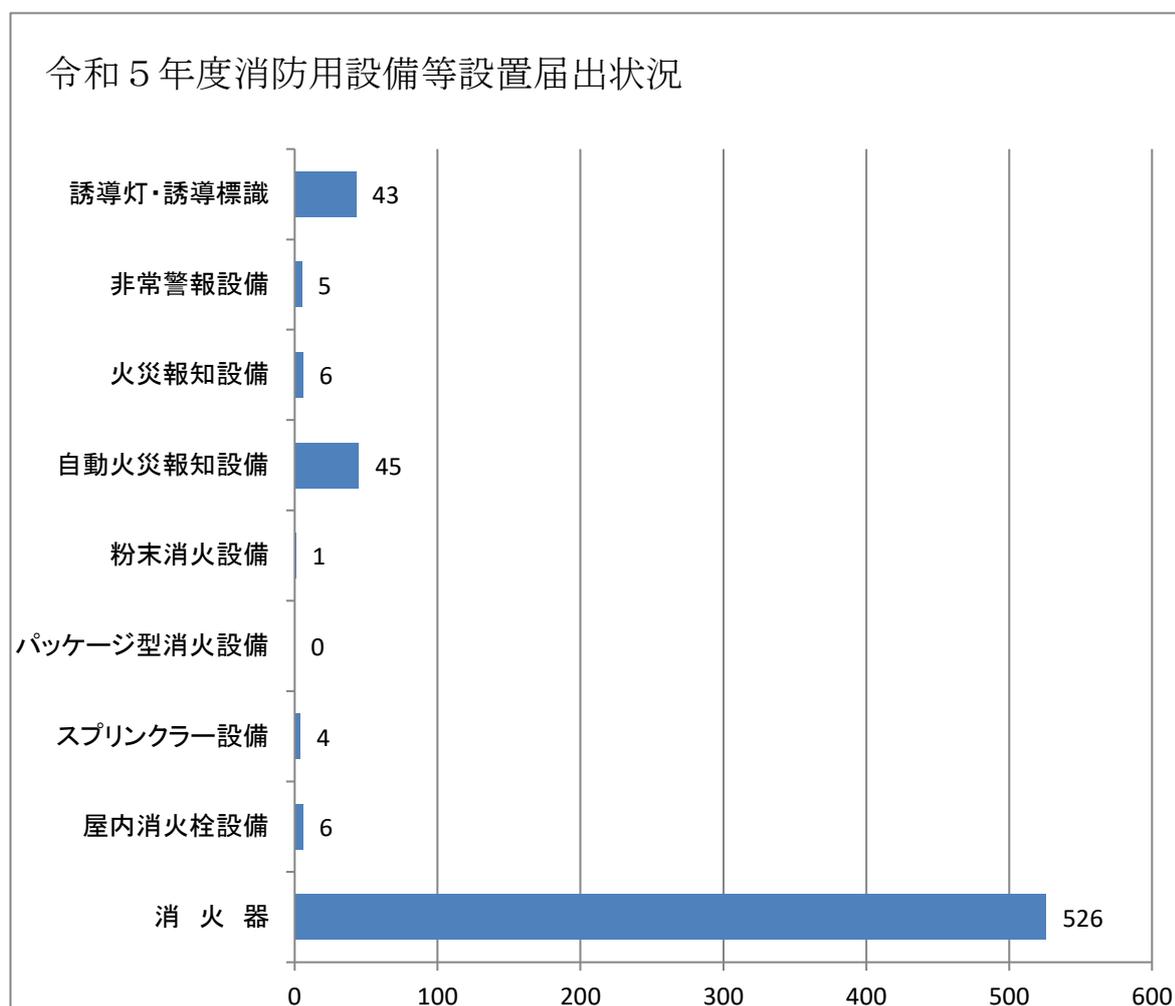
(3) 消防用設備等(特殊消防設備等)

屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、避難器具等の消防用設備等の着工届出数は、42件であり、前年度に比べ16件増加しています。

また、設置届出は、637件であり、前年度に比べ298件増加しています。
消防用設備等別の届出数は、次のとおりです。

区 分	消防の用に供する設備						消防用水		消火活動上必要な設備		合 計	
	消火設備		警報設備		避難設備							
	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置
5年度	4	537	37	56	1	44	0	0	0	0	42	637
4年度	7	236	17	66	2	37	0	0	0	0	26	339
増 減	△ 3	301	20	△ 10	△ 1	7	0	0	0	0	16	298

消防用設備等の設置届出の内訳は、次のとおりです。



(4) 防火対象物定期点検報告制度

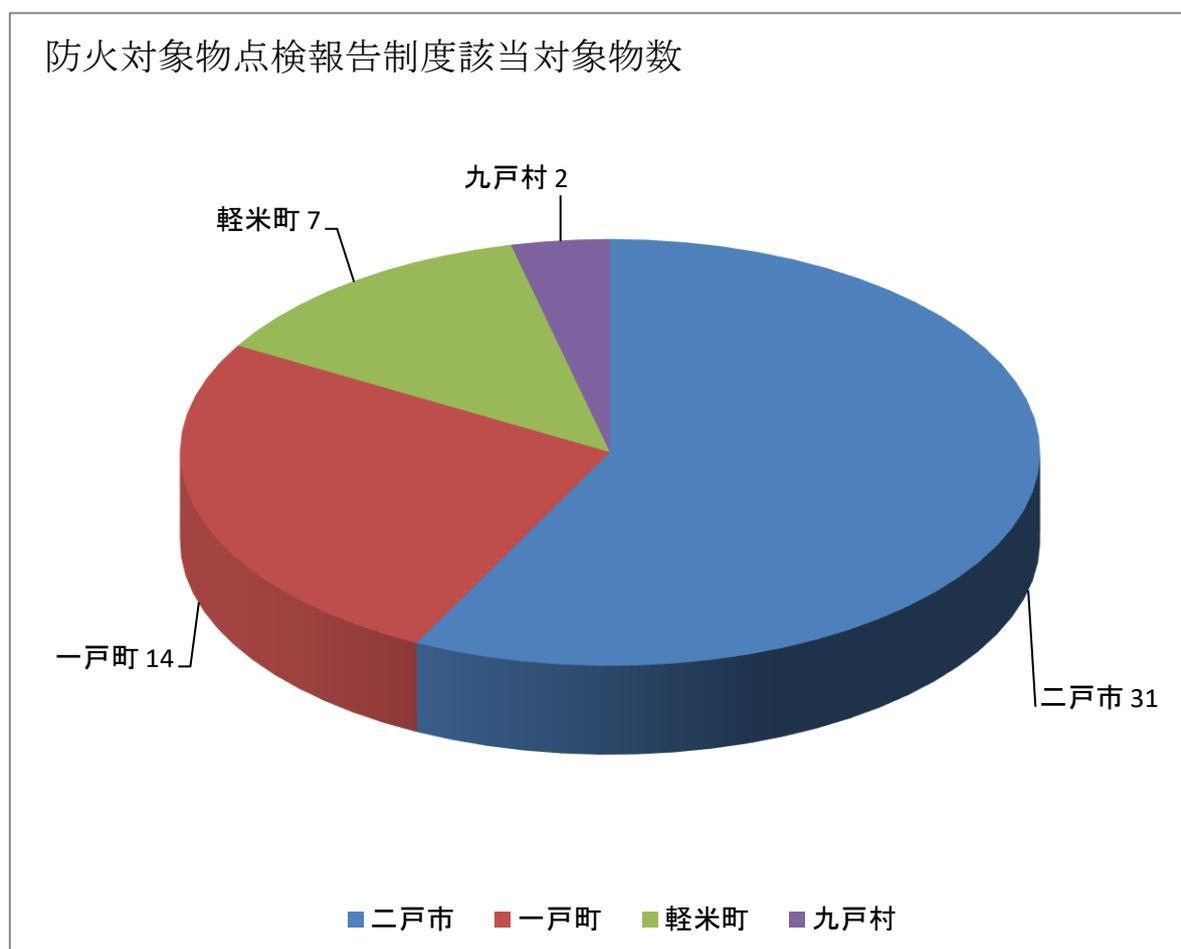
防火対象物定期点検報告制度に該当する防火対象物数は、54件であり、前年度に比べ1件増加しています。

市町村別の防火対象物点検報告制度に該当する防火対象物数は、次のとおりです。

各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
5年度	31	14	7	2	54
4年度	31	14	6	2	53
増減	0	0	1	0	1

防火対象物定期点検制度に該当する防火対象物数の内訳は、次のとおりです。



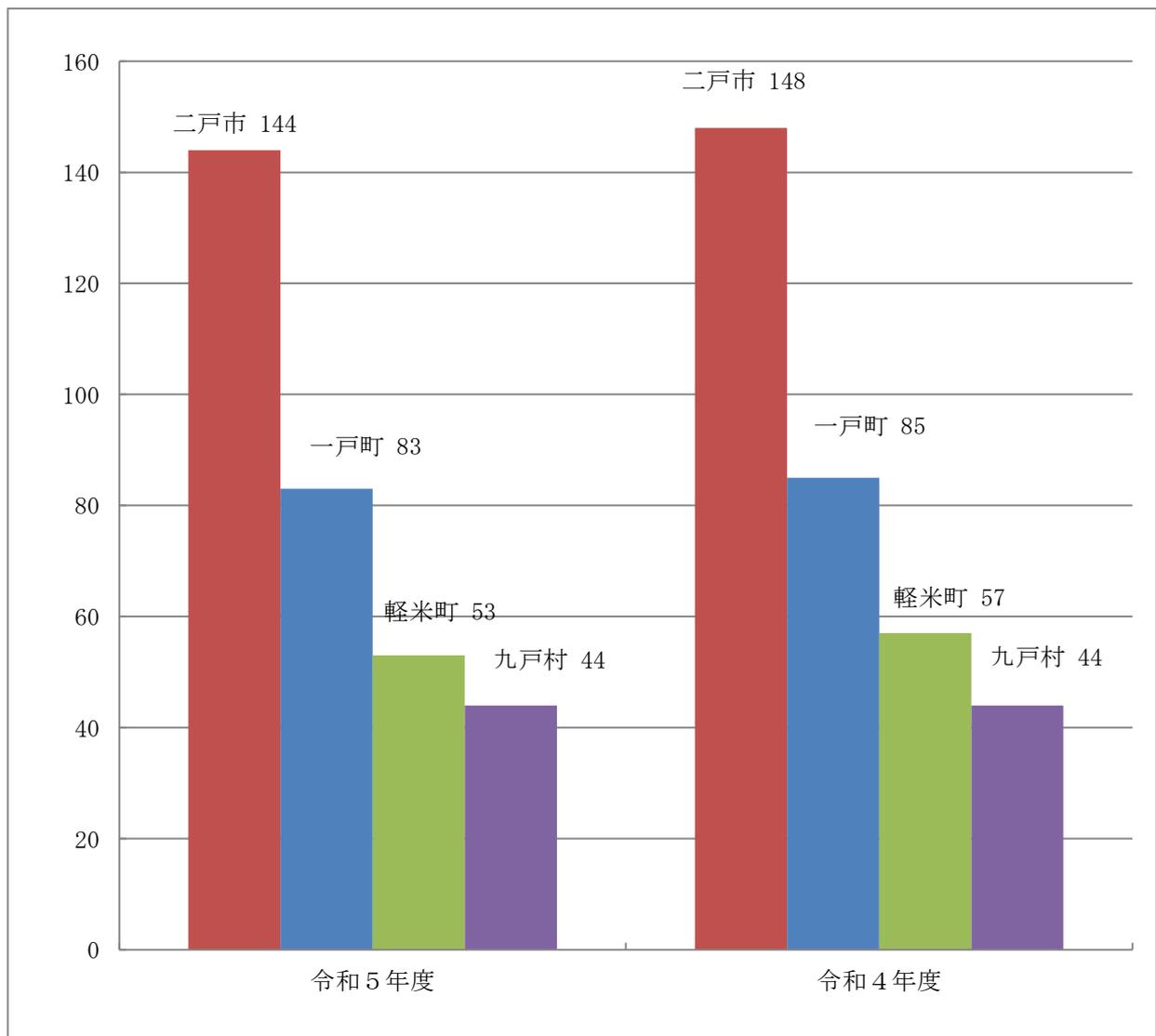
(5) 危険物施設

給油取扱所、地下タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所等の危険物施設数は324施設であり、前年度に比べて10施設減少しています。

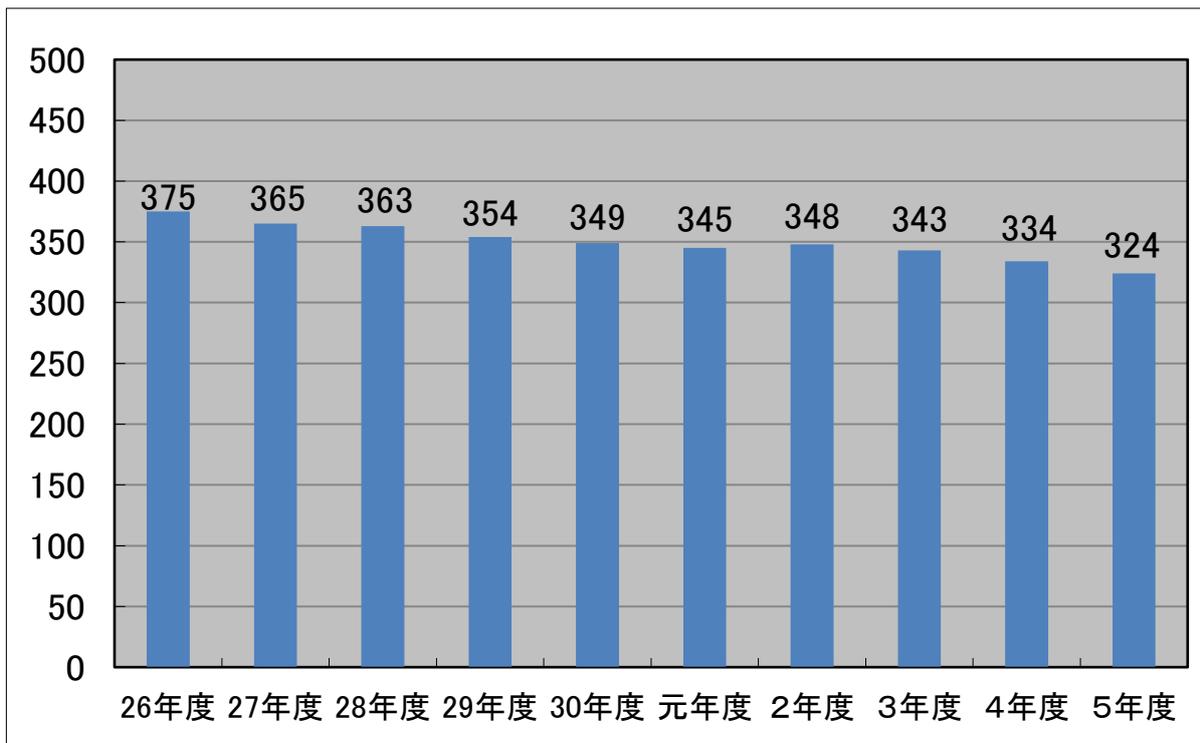
各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
令和5年度	144	83	53	44	324
令和4年度	148	85	57	44	334
増減	△ 4	△ 2	△ 4	0	△ 10

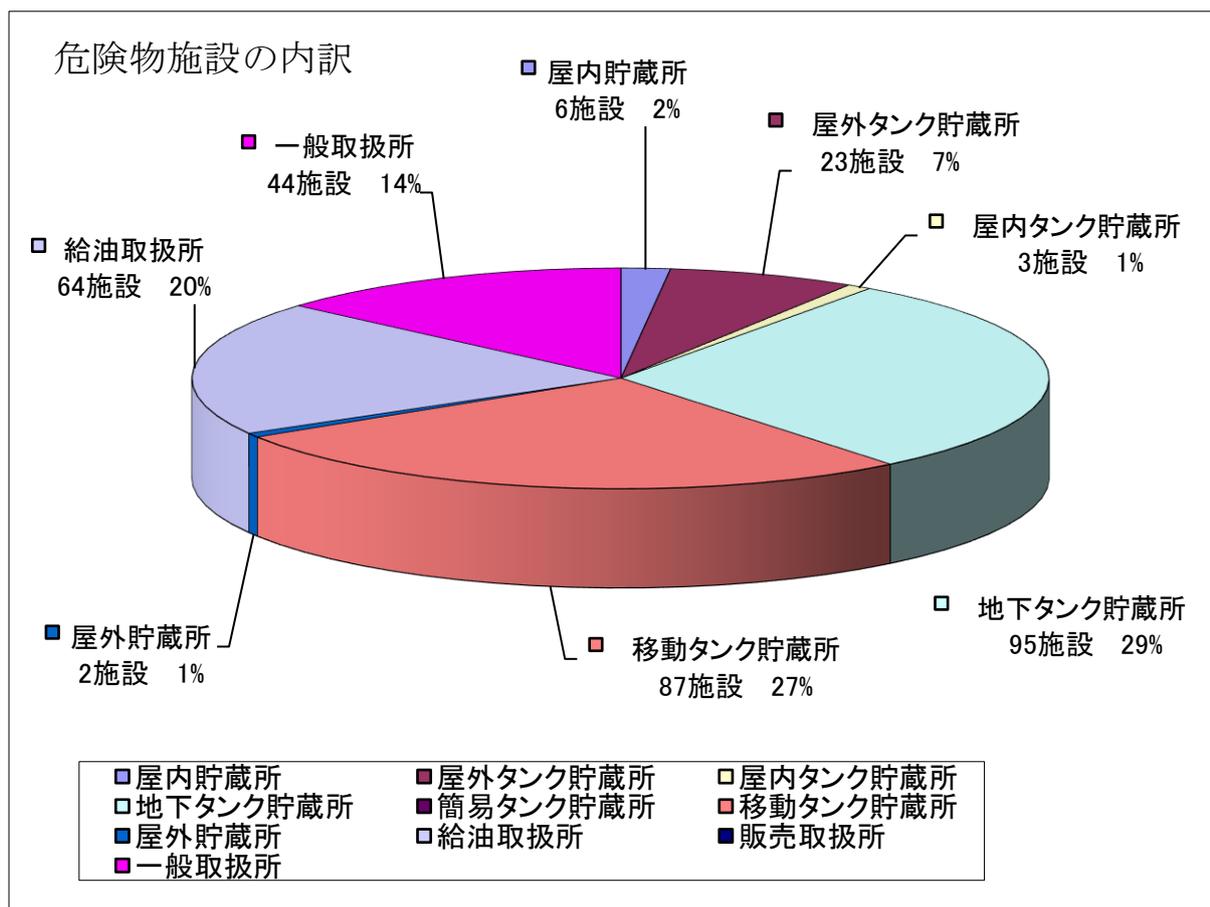
危険物施設の内訳は、次のとおりです。



過去10年間の危険物施設の推移は、次のとおりです。



令和5年度中の危険物施設の内訳は次のとおりです。



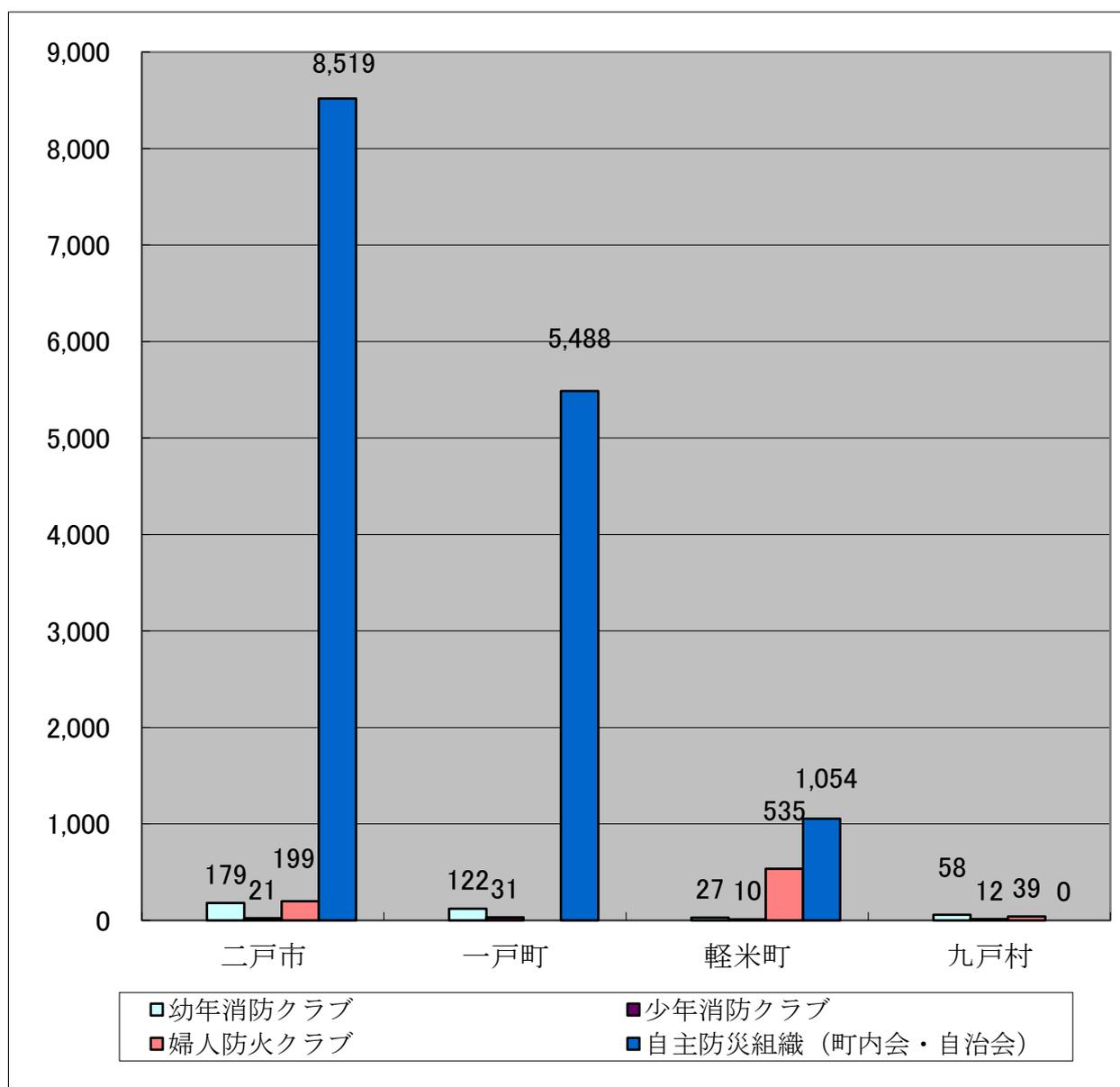
(6) 自主防災組織

防火クラブ等の自主防災組織は128団体であり、前年度に比べ1団体増加しました。
市町村別の組織状況は、次のとおりです。

各年3月31日現在

区 分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
令和5年度	45	33	43	7	128
令和4年度	45	33	42	7	127
増 減	0	0	1	0	1

自主防災組織会員数の内訳は、次のとおりです。



8 警 防

(1) 消防車両の配置状況

令和6年4月1日現在

区分 所属	消防ポンプ自動車				特殊消防自動車						救急自動車			その他の消防車両			合計
	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ付大型水槽車	小計	指揮車（無線中継車）	救助工作車	屈折梯子車	人員輸送車	資機材搬送車	小計	高規格救急自動車	非常用救急自動車	小計	司令車	広報車	小計	
消防本部		1	1	2	1	1	1	1	1	5		1	1	1		1	9
二戸消防署	1	1		2					1	1	1		1		1	1	5
一戸分署	1	1		2						0	1		1		1	1	4
軽米分署		1		1						0	1		1		1	1	3
浄法寺分署		1		1						0	1		1		1	1	3
九戸分署		1		1						0	1		1		1	1	3
合計	2	6	1	9	1	1	1	1	2	6	5	1	6	1	5	6	27

(2) 通信施設

令和6年4月1日現在

総合防災情報ネットワークシステム端末装置	防災行政無線端末装置	火災・救急専用電話	衛星通信利用災害専用電話	衛星携帯帯電話	直通電話	消防無線電話装置					
						固定局	基地局	移動局			
								車載型	卓上型	可搬型	携帯型
1	4	6	6	15	1	2	2	29	6	7	37

(3) 消防水利

令和6年4月1日現在

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計	
基準数		605	635	277	250	1,767	
現 有 数	消 火 栓	地上式	503	396	303	189	1,391
		地下式	0	0	0	0	0
		小 計	503	396	303	189	1,391
	防 火 水 槽	40m ³ 級未満	86	27	20	139	272
		40m ³ 級	279	140	201	13	633
		100m ³ 級	4	0	2	0	6
		小 計	369	167	223	152	911
	合 計		872	563	526	341	2,302
		基準に適合 する水利数	786	536	506	202	2,030
	充 足 率 (%)		130%	84%	183%	81%	115%

※防火水槽の区分
 40 m³級未満 = 20 m³以上
 40 m³級 = 40 m³以上
 100 m³級 = 100 m³以上

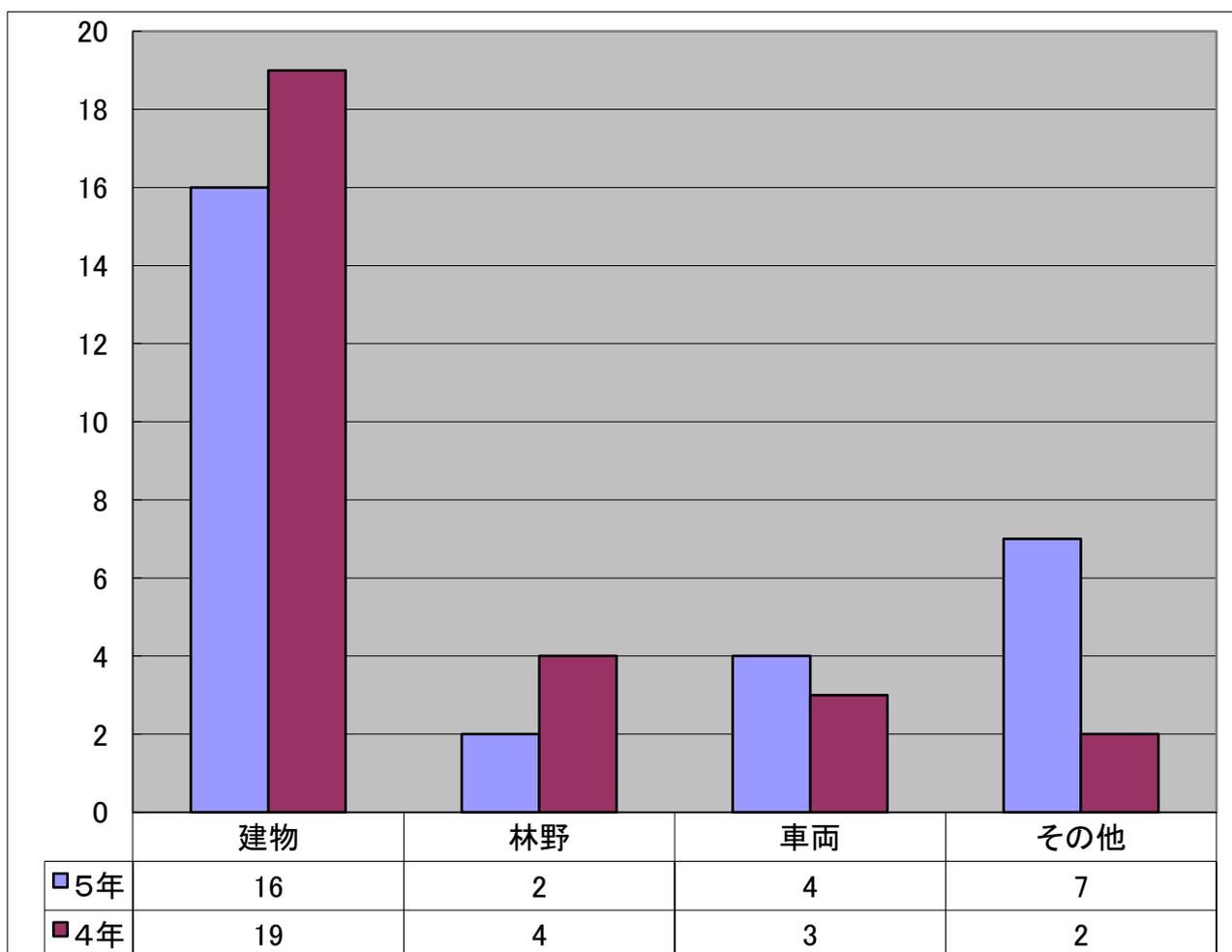
9 火 災

(1) 出火件数

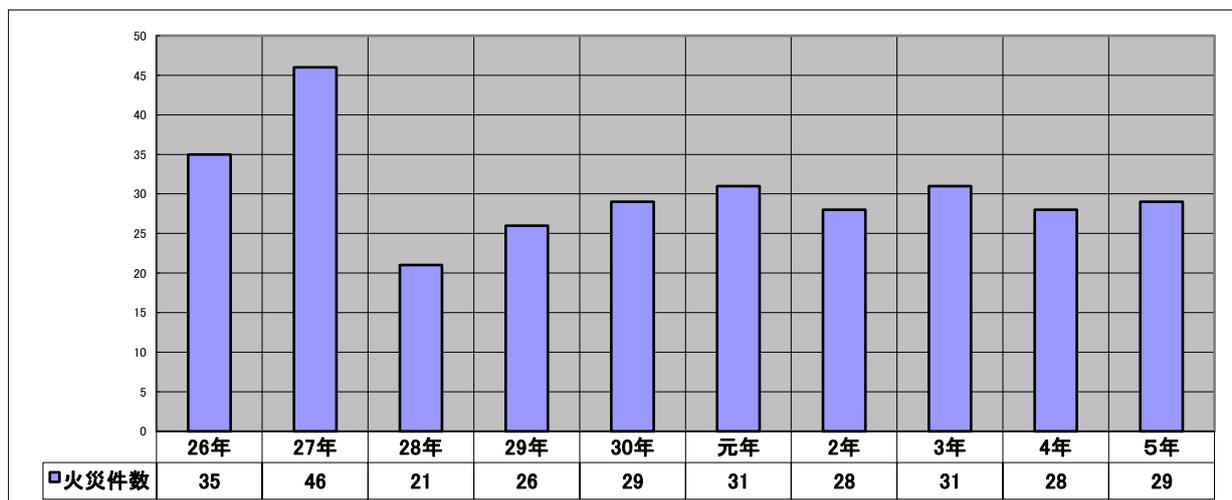
出火件数は、29件であり前年に比べ1件増加しています。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
出火件数	5年	14	7	6	2	29
	4年	13	4	4	7	28
	増減	1	3	2	△ 5	1
出火率 (%)	5年	5.7	6.5	7.5	3.9	
	4年	5.1	3.5	4.7	12.9	
	増減	0.6	3.0	2.8	△ 9.0	

火災種別ごとの出火件数は次のとおりです。



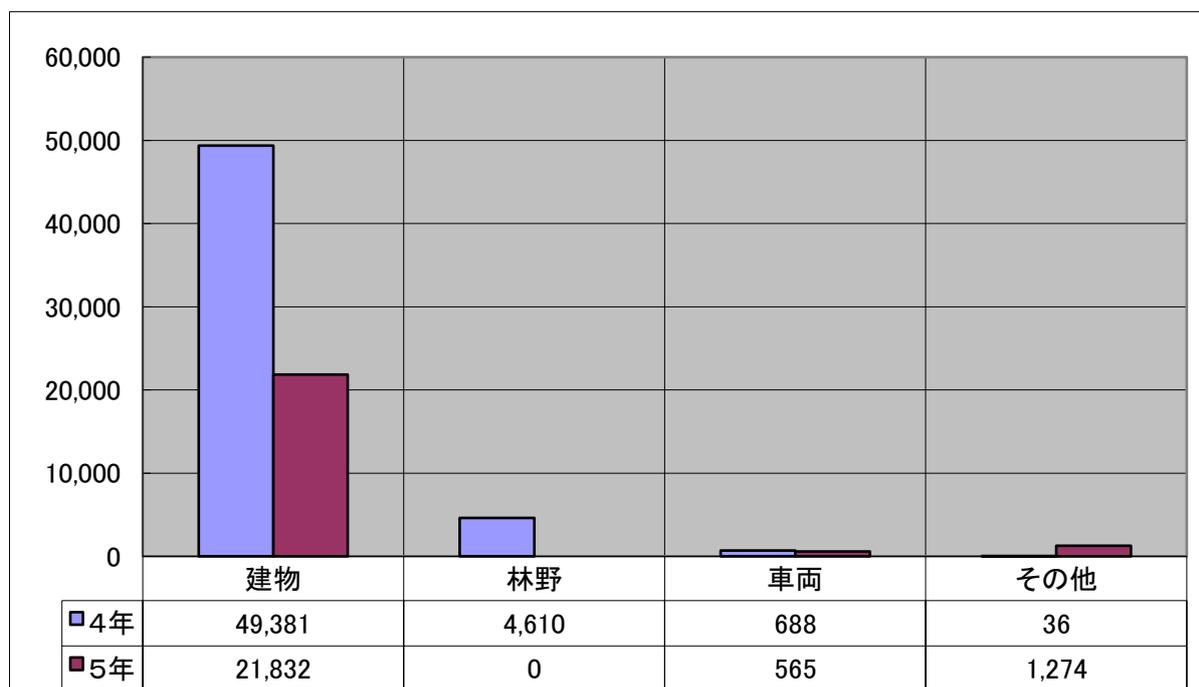
過去10年間の出火件数の推移は、次のとおりです。



(2) 焼損面積及び損害額

建物火災の焼損面積は、855㎡であり、前年に比べ763㎡減少しています。
 また、林野火災における焼損面積は8aであり、前年に比べ228a減少しています。
 損害額は、23,671千円であり、前年に比べ31,044千円減少しています。

区 分	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
	建 物 火 災 (㎡)	林 野 火 災 (a)	
5年	855	8	23,671
4年	1,618	236	54,715
増 減	△ 763	△ 228	△ 31,044



(3) 死傷者

火災による死者は前年と同じく 3 名でした。

また、負傷者は前年に比べると 4 人減少しています。

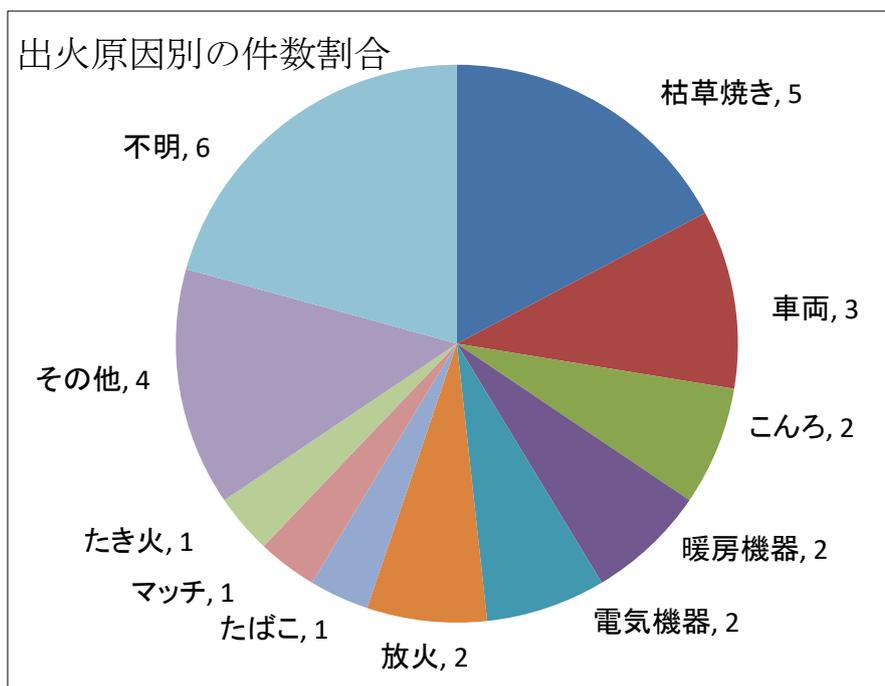
区 分	死 者		負 傷 者
		うち65歳以上	
5 年	3	3	3
4 年	3	1	7
増 減	0	2	△ 4

(4) 出火原因

火災の出火原因は、「枯草焼き」からの出火が 5 件で最も多く、次いで「車両」の順となっています。

出火原因別の件数と割合は、次のとおりです。

原因	枯草 焼き	車両	こんろ	暖房 機器	電気 機器	放火	たばこ	マッチ	たき火	その他	不明	合計
件数	5	3	2	2	2	2	1	1	1	4	6	29



10 救 急

(1) 出動件数及び搬送人員

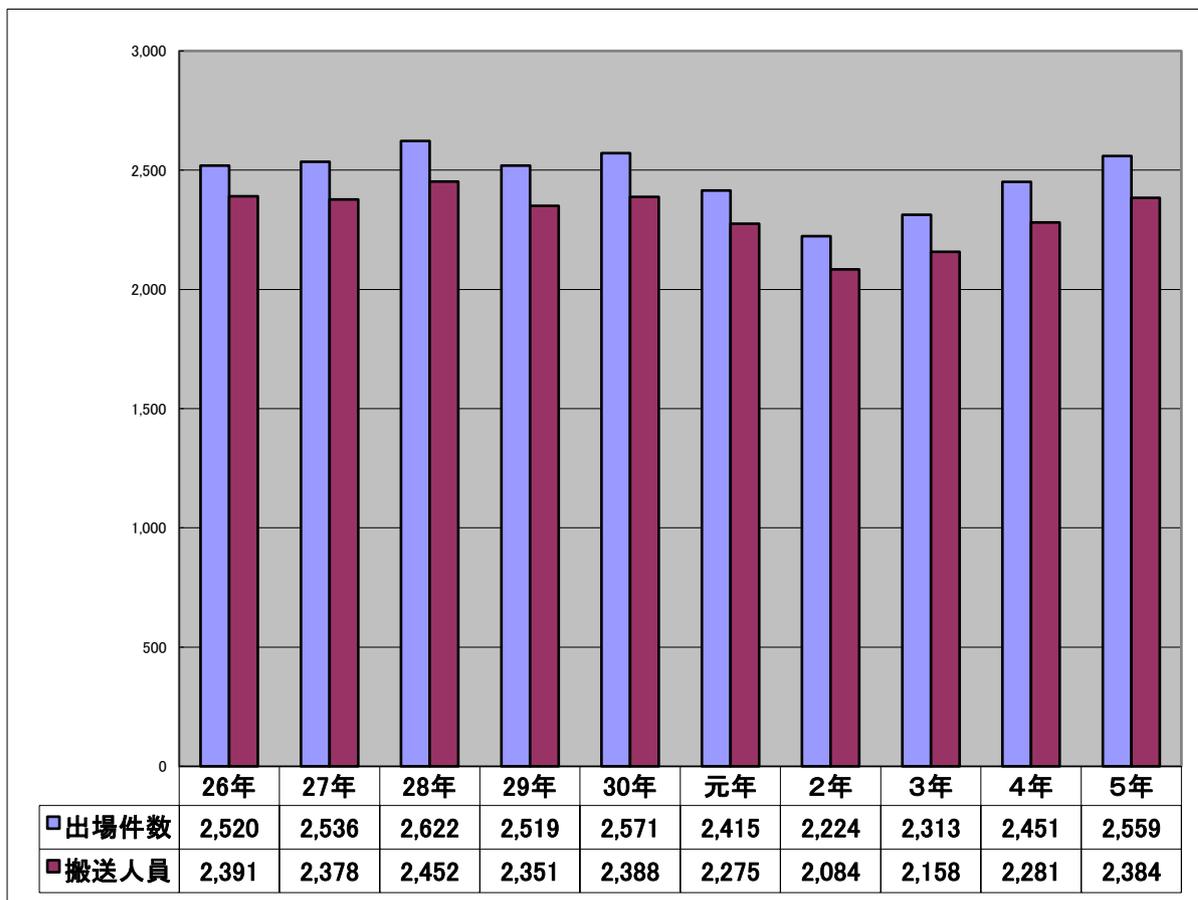
出動件数は2,559件であり、前年に比べ108件増加しています。

また、搬送人員は2,384人であり、前年に比べ103人増加しています。

市町村別の出動件数及び搬送人員は、次のとおりです。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	高速道	管外	合 計
出動件数	5年	1,260	552	405	328	13	1	2,559
	4年	1,158	516	485	284	7	1	2,451
	増 減	102	36	△ 80	44	6	0	108
搬送人員	5年	1,178	505	379	310	11	1	2,384
	4年	1,071	485	457	264	3	1	2,281
	増 減	107	20	△ 78	46	8	0	103

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移は、次のとおりです。

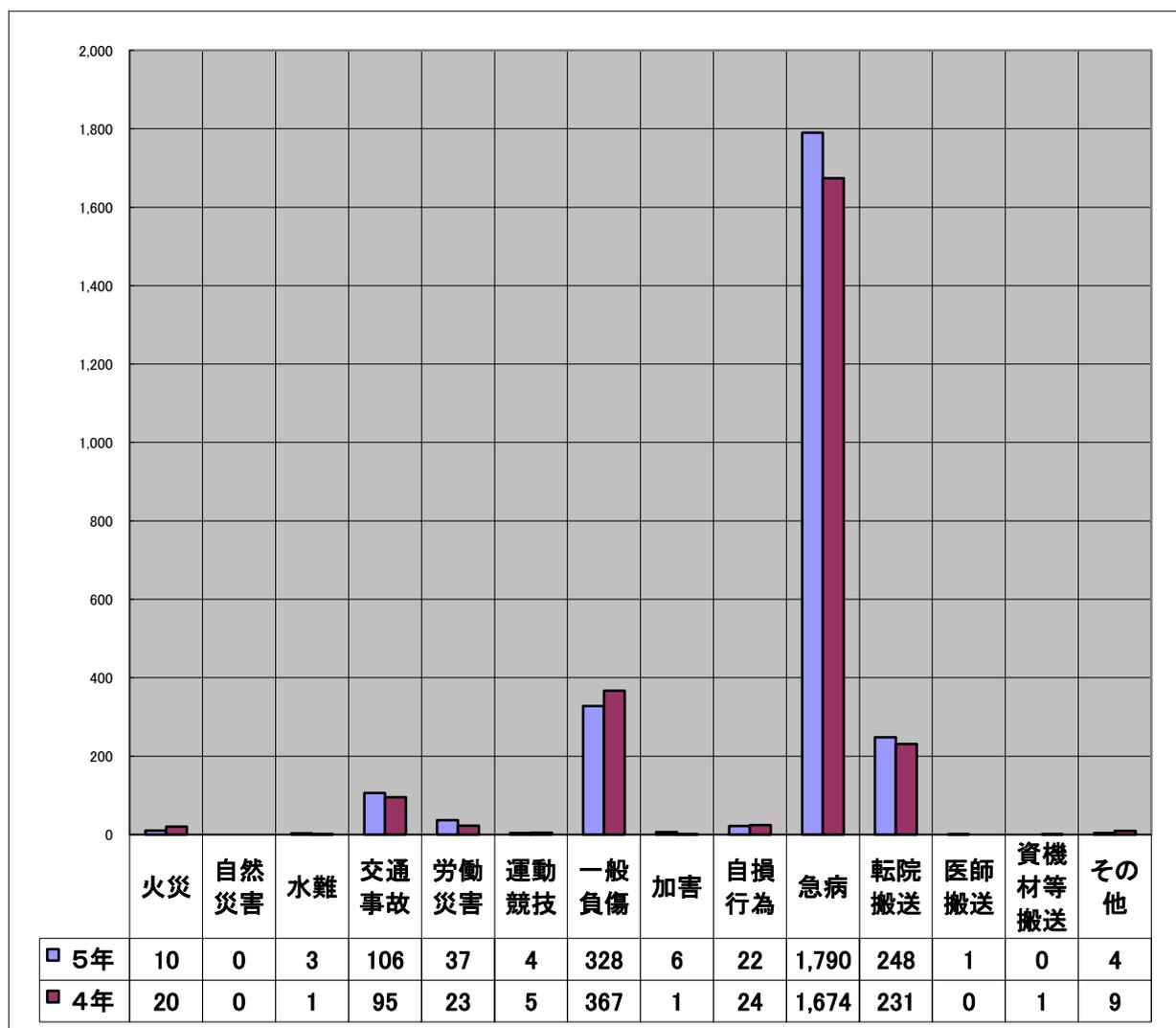


(2) 事故種別ごとの出動件数

事故種別ごとの出動件数は「急病」が1,790件で最も多く、前年に比べ116件増加しており、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっています。

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
5年	10	0	3	106	37	4	328	6	22	1,790	248	1	0	4	2,559
4年	20	0	1	95	23	5	367	1	24	1,674	231	0	1	9	2,451
増減	△ 10	0	2	11	14	△ 1	△ 39	5	△ 2	116	17	1	△ 1	△ 5	108

事故種別ごとの出動件数を前年と比較すると、次のとおりです。

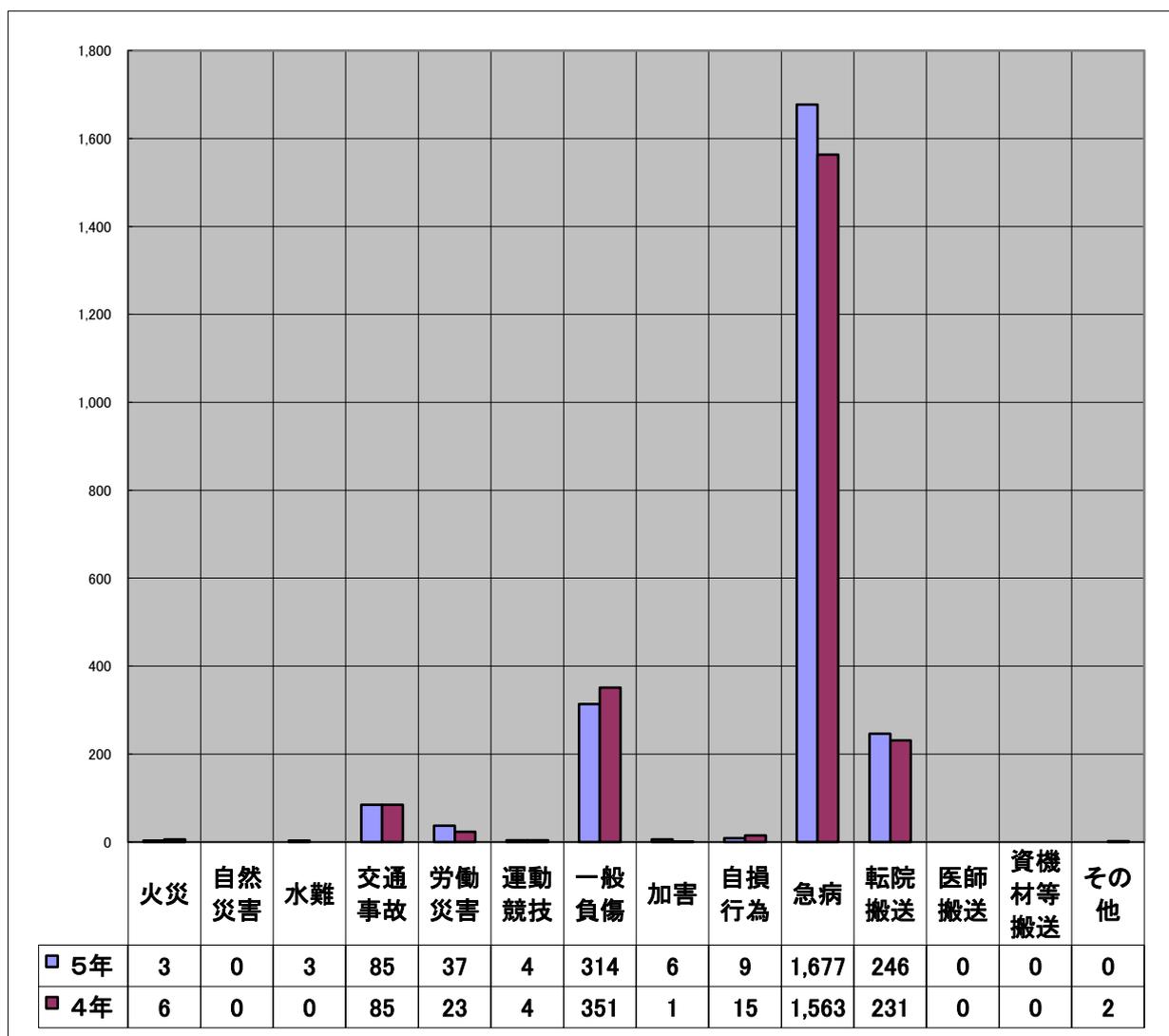


(3) 事故種別ごとの搬送人員

事故種別ごとの搬送人員は「急病」が1,677件で最も多く、前年に比べ114人増加しており、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっています。

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
5年	3	0	3	85	37	4	314	6	9	1,677	246	0	0	0	2,384
4年	6	0	0	85	23	4	351	1	15	1,563	231	0	0	2	2,281
増減	△ 3	0	3	0	14	0	△ 37	5	△ 6	114	15	0	0	△ 2	103

事故種別ごとの搬送人員を前年と比較すると、次のとおりです。

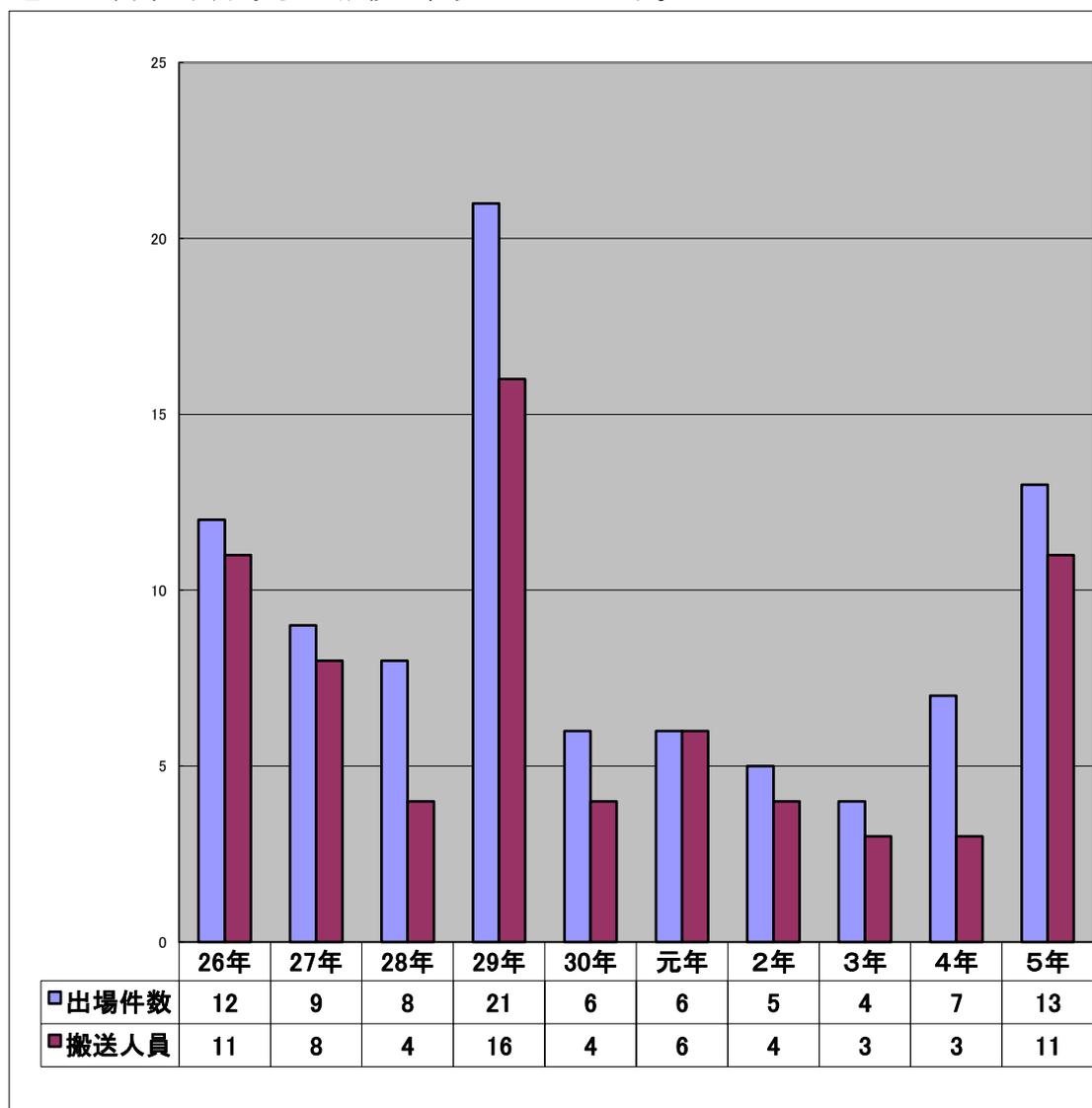


(4) 八戸自動車道における救急出動状況

八戸自動車道における救急出動件数は13件で、前年に比べ6件増加しています。
また、搬送人員は11人であり、前年に比べ8人増加しています。
市町村別の出動件数及び搬送人員は、次のとおりです。

	出動件数	搬送人員
令和5年	13	11
令和4年	7	3
増 減	6	8

過去10年間の出動状況の推移は、次のとおりです。



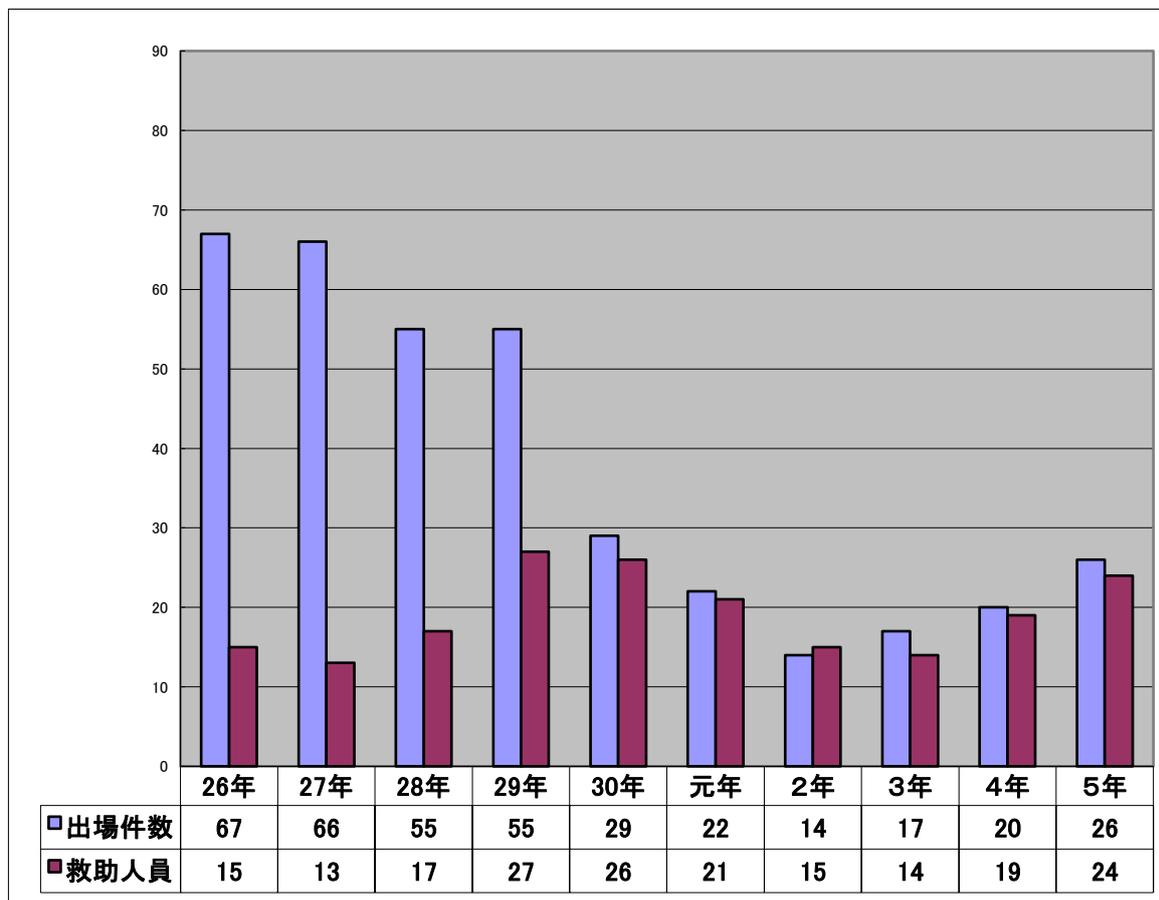
11 救 助

(1) 救助出動件数及び救助人員

出動件数は26件であり、前年に比べ6件増加しています。
 また、救助人員は24人であり、前年に比べ6人増加しました。
 市町村別の出動件数及び救助人員は、次のとおりです。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
出 場 件 数	5年	11	11	1	3	26
	4年	6	4	7	3	20
	増 減	5	7	△ 6	0	6
救 助 人 員	5年	11	9	1	3	24
	4年	6	3	7	3	19
	増 減	5	6	△ 6	0	5

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移は、次のとおりです。

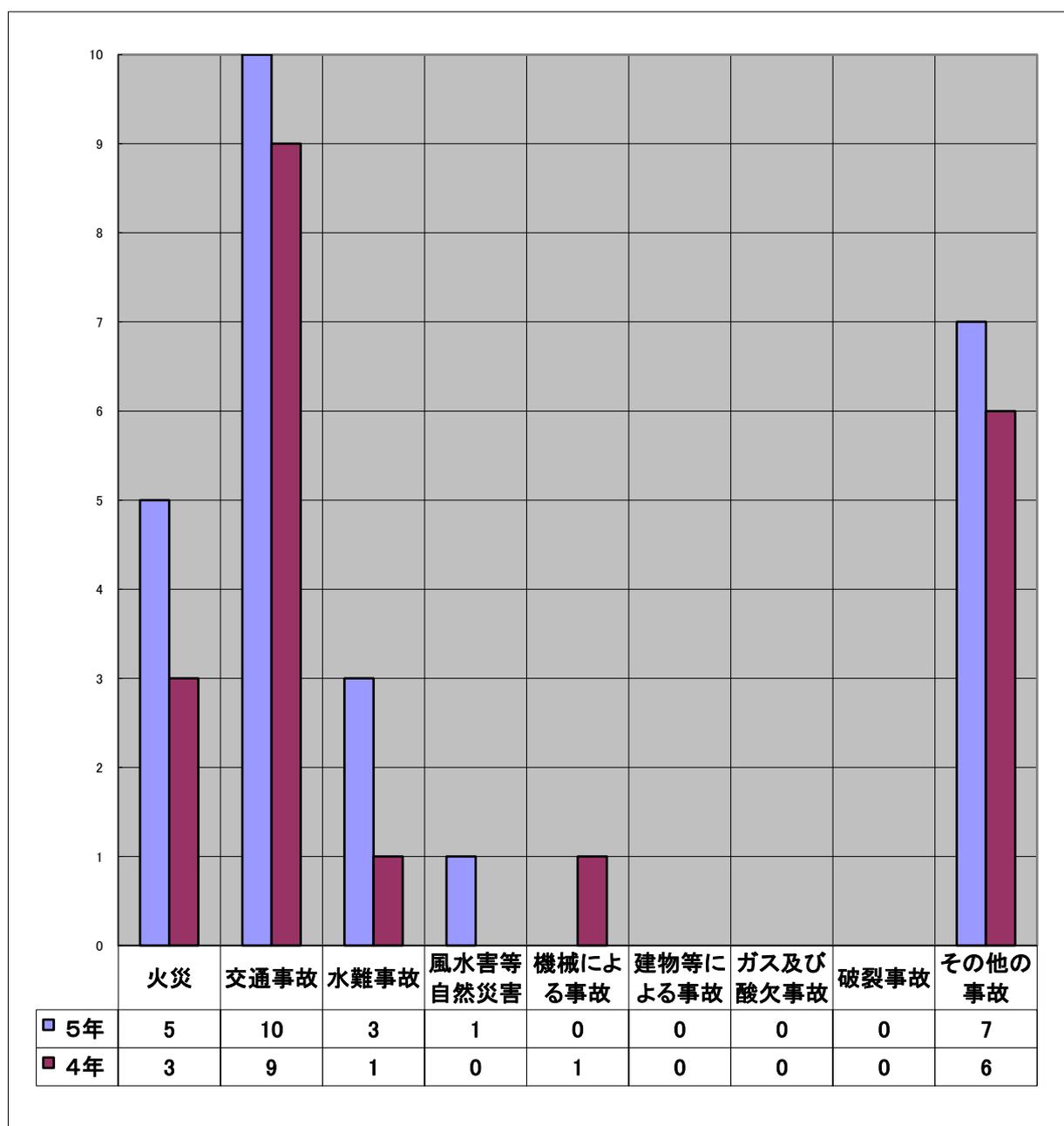


(2) 事故種別ごとの救助出動件数

事故種別ごとの出動件数は「交通事故」が10件で最も多く、次いで「その他の事故」、
「火災」の順となっています。

	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
5年	5	10	3	1	0	0	0	0	7	26
4年	3	9	1	0	1	0	0	0	6	20
増減	2	1	2	1	△ 1	0	0	0	1	6

事故種別ごとの出動件数を前年と比較すると、次のとおりです。

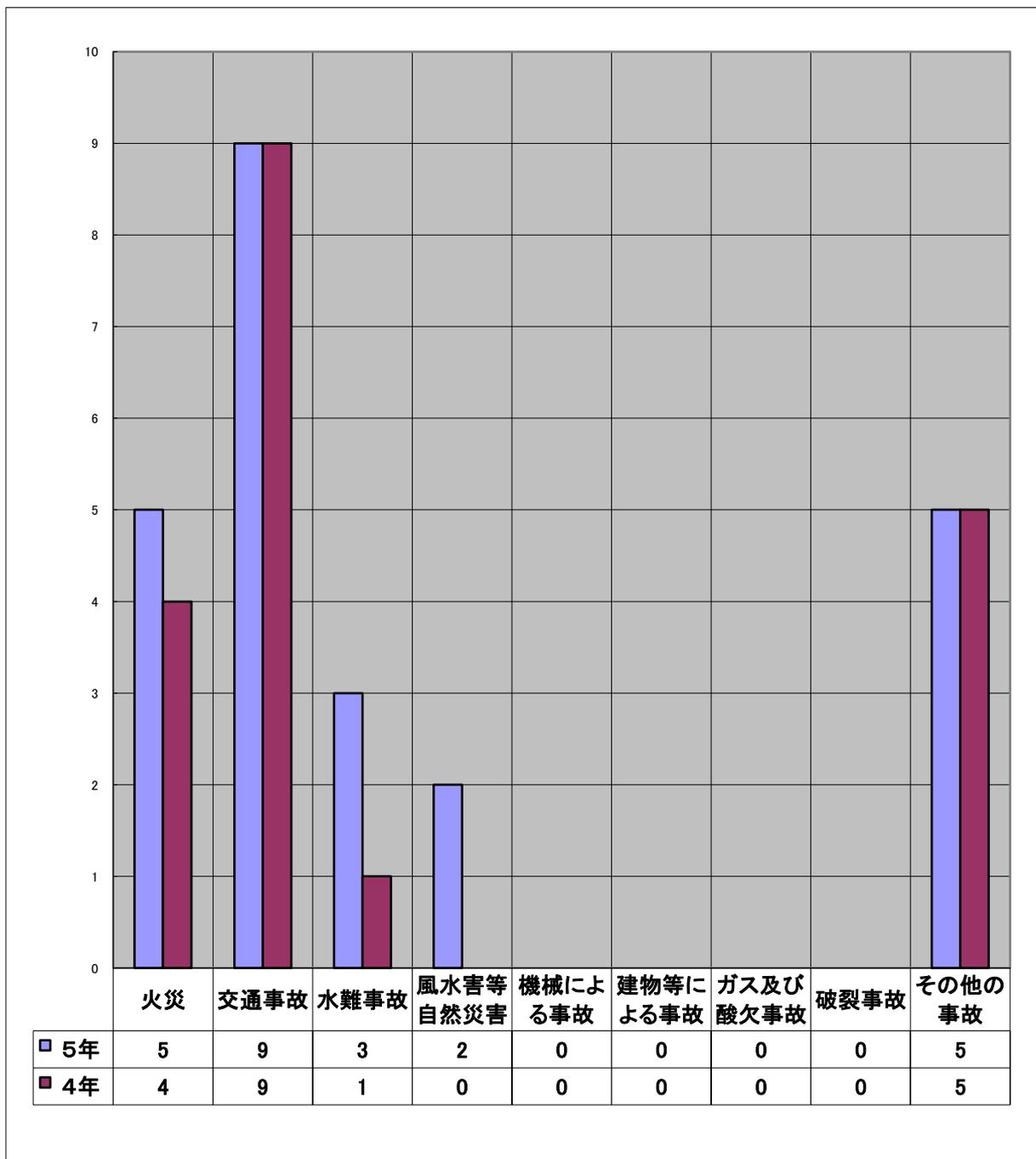


(3) 事故種別ごとの救助人員

事故種別ごとの救助人員は「交通事故」が9人で最も多く、次いで「火災」「その他の事故」、「水難事故」の順となっています。

	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
5年	5	9	3	2	0	0	0	0	5	24
4年	4	9	1	0	0	0	0	0	5	19
増減	1	0	2	2	0	0	0	0	0	5

事故種別ごとの救助人員を前年と比較すると、次のとおりです。



資 料 編



【御所野遺跡・一戸町】

「御所野遺跡」は平成元年に調査が始まり、平成20年からは北海道・北東北3県の縄文遺跡群構成資産の一つとして行政、町民が一体となって世界遺産登録を目指して取り組んできましたが、令和3年7月27日、第44回世界遺産委員会において「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産一覧表への掲載が決定しました。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、北海道、青森県、秋田県、岩手県の4道県に点在する17遺跡群で、縄文時代草創期から晩期の各時期の代表的な遺跡で構成されています。

「御所野遺跡」は縄文時代中期後半（5000年前～4200年前）の拠点集落跡で、縄文社会の移り変わりを解明するうえで非常に重要な位置づけとなっています。

令和5年度中の主要行事

月	日	行 事 内 容	開催場所等
4	3	辞令交付式及び管理者訓示	広域事務局など
	7	岩手県消防協会二戸地区支部総会	
	14	二戸地区山火事防止宣伝パレード	消防本部
	19	感染対策強化研修 ～25日まで	北九州市
	26	令和5年度災害情報システム操作研修会	岩手県庁
	29	九戸村消防演習	九戸村
5	3	二戸市消防演習	二戸市
	14	一戸町消防演習	一戸町
	18	八戸ドクヘリ/ドクターカー事例検討会	消防本部
	23	岩手県防災航空隊・二戸消防本部連携訓練	二戸空中消火基地
	25	令和5年二戸地区広域行政事務組合議会 第1回臨時会	広域事務局
	26	岩手県消防協会二戸地区支部団長等会議	消防本部
6	7	救命ボート操船訓練	世増ダム
	18	土砂災害危険箇所パトロール (6/23まで)	二戸市・軽米町
	24	東北救急医学会 (オンライン開催)	弘前市
	19	二戸地区支部消防操法競技会	軽米町
	28	第46回 消防救助技術岩手県大会	岩手県消防学校
7	3	ハラスメント等撲滅推進会議	消防本部
	4	水難救助訓練	馬淵川公園付近河川敷
	10	指導救命士養成研修終了 (1名)	九州研修所
	12	二戸圏域新型コロナウイルス感染症医療連絡会議	消防本部
	11	第1回二戸地域メディカルコントロール協議会	消防本部
		令和5年度総務関係実務研修会 (オンライン開催)	消防本部
	21	令和5年度消防用設備等実務研修会	盛岡市
		二戸地区危険物安全協会定例総会	二戸パークホテル
	24	岩手県消防操法競技会	岩手県消防学校
	26	第50回東北地区支部消防救助技術指導会	鶴岡市
	27	第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会	帝京大学板橋キャンパス
28	令和5年度予防技術講習会	東京都	
8	1	実働指導救命士認定証交付式 (1名)	消防本部
	12	お盆特別警戒 (8/16まで)	管内全域
	15	初任教育学生 実務研修 (18日まで)	消防本部
9	2	二級小型船舶操縦士講習 (9/4まで)	八戸市
	15	調査技術会議	仙台市
	17	消防職員採用第1次試験	福岡中学校
		軽米町消防演習	軽米町
	20	令和5年度違反是正事例研究会	盛岡中央消防署
		消防職員委員会	消防本部
	23	上級救命講習会	二戸消防署
	27	令和5年度オイルフェンス設置訓練	八戸市
28	運転技術講習 (スキッド路面体験)	岩手県雫石町	

月	日	行 事 内 容	開催場所等
10	2	救急実務講習会（10/3まで）	消防本部
	7	二戸市防災訓練	二戸市上斗米
	15	九戸村防災訓練	九戸村伊保内
		緊急自動車運転技能者講習（18日まで）	茨城県 安全運転中央研修所
	17	岩手県幼少年婦人防火委員会会長表彰伝達式	じょうもんの里こども園
	24	安全運転管理者講習	シビックセンター
	25	カシオペアしごとメッセ	なにやーと
		消防広域化東北ブロック説明会	秋田県庁
	26	消防本部屈折はしご車運用開始	消防本部
	27	全国消防長会東北支部 警防実務研究会	青森県三沢市
30	令和5年第2回二戸地区広域行政事務組合議会定例会	広域事務局	
11	1	職員採用試験2次試験	消防本部
	9	秋季全国火災予防運動（11/15まで）	管内全域
	16	全国消防長会東北支部 予防・広報講習会（11/17日まで）	福島市 グリーンパレス
	18	令和5年度 緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練（11/9まで）	岩手県宮古市
	28	安全衛生推進者講習（11/29まで）	盛岡市
12	3	令和5年度予防技術検定試験	盛岡市
	7	消防職員意見発表会二戸地区選考会	消防本部
	11	車両破壊救助救出訓練	二戸消防署訓練場
	12	女性消防吏員活躍推進研修会	久慈市防災センター
		令和5年度 全国消防救助シンポジウム	東京都
	29	年末年始特別警戒（1/3まで）	管内全域
1	3	二戸市消防出初式	二戸市
	4	管理者年頭訓示	広域事務局
	7	一戸町消防出初式・軽米町消防出初式・九戸村消防出初式	各町村会場
	16	岩手県防災航空隊運用事例検証会	消防本部
	17	応急手当普及員新規養成講習（1/19まで）	消防本部
2	1	令和5年度 全国救急隊員シンポジウム（1/27まで）	名古屋市
	2	火災予防ポスターコンクール審査会	消防本部
	9	第46回岩手県消防職員意見発表会	盛岡市
	13	令和5年度岩手県女性消防吏員研修会	岩手県消防学校
	15	令和6年第1回二戸地区広域行政事務組合定例会	広域事務局
	16	消防大学校専科予防科第115期終了（1名）	消防大学校
		第5回 通信指令シンポジウム	東京都
3	1	春季全国火災予防運動（3/7まで）	管内全域
	7	消防大学校専科新任教官科第17期終了（1名）	消防大学校
	21	テールゲートリフター特別教育（3/22まで）	消防本部
	24	軽米広報車 運用開始	軽米分署
	26	令和5年度岩手県消防表彰式	県民会館大ホール
	27	一戸救急 運用開始	一戸分署
	31	退職者辞令交付式	消防本部

< 総 務 >

職 員 数

令和5年4月1日現在の職員数は次のとおりです。

定 数	職 員 数 (うち再任用職員)
115人	113人 (2人)

* 職員の採用状況
令和6年4月1日付 4名採用

研 修 ・ 資 格 講 習 派 遣

令和5年度研修・資格講習派遣計画に基づき実施した受講者数は次のとおりです。

研 修 区 分		修了者	研 修 区 分		修了者
岩 手 県 消 防 学 校	初 任 教 育	6	大消 学 校防	予 防 科	1
	上 級 幹 部 科	2		新 任 教 官 科	1
	初 ・ 中 級 幹 部 科	3	救 命 士	新規養成研修 (東京研修所)	2
	警 防 科	2		指導救命士講習 (九州研修所)	1
	救 助 科	2	資 格 系	小型車両系建設機械運転	3
	救 急 科	2		玉 掛 け 技 能 講 習	2
	予 防 総 合 科	(未開催)		小型移動式クレーン講習	2
	火 災 調 査 科	1		二級小型船舶操縦士	2
	無 線 通 信 講 習	5		消防・救急緊急自動車運転技能者	1
土 砂 災 害 特 別 講 習	4		安全衛生推進者養成講習	2	

表 彰 受 章 者

令和5年度消防関係表彰受章状況は次のとおりです。

表 彰 区 分			受章(賞)者
消 防 庁 長 官 表 彰	永年勤続功労章		1
岩 手 県 知 事 表 彰	功 績 章		3
組 合 管 理 者 表 彰	功 労 章		3
全 国 消 防 長 会	永年勤続功労者表彰	30年	4
全 国 消 防 長 会 東 北 支 部	永年勤続功労者表彰	20年	2
(公財)岩手県消防協会	功 績 章		2
	内 助 功 労 賞		1 (令夫人)
(公財)日本消防協会	勤 続 章		4

消防職員の配置状況

令和5年4月1日現在

所 属	階 級	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員
合 計		115	1	3	14	27	23	19	28	
消 防 本 部		16 (6)	1	2	4	6 (4)	2 (1)	1 (1)	0	
二 戸 消 防 署		33		1	5	8	6	3	10	
	一 戸 分 署	19			1	4	5	4	5	
	軽 米 分 署	16			1	4	3	4	4	
	浄 法 寺 分 署	15			1	3	3	4	4	
	九 戸 分 署	16			2	2	4	3	5	

※ () 内は署兼務者数

階級別・年齢別職員数

令和5年4月1日現在

階級別 年齢別	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	合計
21歳未満							5	5
21歳～25歳							11	11
26歳～30歳						6	14	20
31歳～35歳					9	11		20
36歳～40歳					11			11
41歳～45歳				8	6			14
46歳～50歳				12				12
51歳～55歳			7	7				14
56歳以上	1	3	2	1 (1)	1 (1)			8
人 員	1	3	9	28	27	17	30	115

() 内は再任用職員

在職年数別消防職員数

令和5年4月1日現在

区 分	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計
5年未満							15	15
5年～9年						4	14	18
10年～14年					9	13	1	23
15年～19年					9	1		10
20年～24年				2	7			9
25年～29年			2	15				17
30年～34年			3	10				13
35年以上	1	3	4	1 (1)	1 (1)			10
合 計	1	3	9	28	26	18	30	115

() 内は再任用職員

職員の資格取得状況

令和5年4月1日現在

免許等の区分		署分署別		消防本部	二戸消防署	一戸分署	軽米分署	浄法寺分署	九戸分署	計	
		消防本部	二戸消防署								
運転免許・整備	大型免許			15	26	13	13	12	12	91	
	中型免許				2				1	3	
	準中型免許			2	1	3	1		1	8	
	大型特殊免許			3	1	4	4	5	1	18	
	けん引免許							1		1	
	自動二輪			4	8	1	3	2	2	20	
	小型車両系建設機械技能講習			6	8	5	0	3	3	25	
	自動車整備士	2級								1	1
予防・危険物	消防設備士	乙4類				1				1	
		乙6類	3	2	1		1			7	
	危険物取扱者	乙1類		2							2
		乙2類		1	1				1		3
		乙3類		1	1			1	1		4
		乙4類	3	8	7	8	4	5			35
		乙5類		1				1			2
		乙6類		1	1				1		3
	予防技術資格者	丙種	1	1			1		1		4
		査察	1	10	5	6	5	4			31
		設備等	1	4	3	3	3	1			15
危険物	危険物	1	4	3	2	3	1			14	
無線	陸上特殊無線技士	2級	11	10	4	4	2	3		34	
		3級	2	17	11	9	11	9		59	
救急・救助	救急救命士(うち指導救命士)		3 (2)	11 (3)	6	5	7	4		36 (5)	
	救急隊員資格者		13	16	10	9	7	10		65	
	墜落制止用器具特別教育		10	28	18	15	14	15		100	
	玉掛技能		12	13	4	5	4	6		44	
	移動式クレーン		12	13	4	5	3	6		43	
	小型船舶操縦士		7	6	3	2	1	3		22	
	特定化学物質作業主任者			2			1		2	5	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		8	2	4	3	1	4		22	
	ガス・電気溶接		1	1			1		2	5	
	着衣泳指導員			1				1		2	
その他	安全衛生推進者		3	2		1	1			7	
	甲種火薬類取扱保安責任者						1			1	

< 予 防 >

防火対象物の状況

令和6年3月31日現在

防火対象物の区分		署分署別	二 消 防 署	一 戸 分 署	軽 米 分 署	浄 法 寺 署	九 戸 分 署	合 計
1	イ	劇場・映画館等	2	2	1		1	6
	ロ	公会堂・集会場	10	4	6	6	4	30
2	イ	キャバレー等						0
	ロ	遊技場等	3					3
	ハ	風俗営業等						0
	ニ	カラオケボックス等	1					1
3	イ	待合・料理店等						0
	ロ	飲食店	13	6	2	1	4	26
4		百貨店等	50	16	9	10	8	93
5	イ	旅館・ホテル等	18	3	3	3	1	28
	ロ	共同住宅等	164	64	17	1	8	254
6	イ	病院・診療所等	14	7	4	2		27
	ロ	養護老人ホーム等	21	23	5	4	4	57
	ハ	デイサービス等	24	33	8	7	5	77
	ニ	幼稚園等	2	5				7
7		学校等	46	34	17	4	18	119
8		図書館・博物館等	5	2	4	1	1	13
9	イ	蒸気・熱気浴場等						0
	ロ	イ以外の公衆浴場		3			1	4
10		車両の停車場	3	1				4
11		神社・寺院・教会	19	3	9	2	7	40
12	イ	工場・作業場	124	74	47	38	49	332
	ロ	テレビスタジオ等						0
13	イ	車庫・駐車場	9	17	8	4	7	45
	ロ	飛行機等格納庫						0
14		倉庫	101	78	43	37	34	293
15		前各項に該当しない事業場	395	421	512	179	562	2,069
16	イ	複合用途（特定）	65	30	17	10	17	139
	ロ	複合用途（非特定）	48	17	15	9	7	96
16の2		地下街						0
16の3		準地下街						0
17		重要文化財等	2	2	2	2		8
18		アーケード						0
合 計			1,139	845	729	320	738	3,771

署分署別建築同意状況

令和6年3月31日現在

署分署別 防火対象物の区分		計	二 消 防 署	一 戸 分 署	軽 米 分 署	浄 法 寺 分 署	九 戸 分 署
1	イ 劇場・映画館等	0	0	0	0	0	0
	ロ 公会堂・集会場	0	0	0	0	0	0
2	イ キャバレー等	0	0	0	0	0	0
	ロ 遊技場等	0	0	0	0	0	0
	ハ 風俗営業等	0	0	0	0	0	0
	ニ カラオケボックス等	0	0	0	0	0	0
3	イ 待合・料理店等	0	0	0	0	0	0
	ロ 飲食店	1	1	0	0	0	0
4	百貨店等	0	0	0	0	0	0
5	イ 旅館・ホテル等	0	0	0	0	0	0
	ロ 共同住宅等	3	1	0	0	0	2
6	イ 病院・診療所等	1	1	0	0	0	0
	ロ 養護老人ホーム等	0	0	0	0	0	0
	ハ デイサービス等	2	2	0	0	0	0
	ニ 幼稚園等	0	0	0	0	0	0
7	学校等	0	0	0	0	0	0
8	図書館・博物館等	0	0	0	0	0	0
9	イ 蒸気・熱気浴場等	0	0	0	0	0	0
	ロ イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0
10	車両の停車場	0	0	0	0	0	0
11	神社・寺院・教会	0	0	0	0	0	0
12	イ 工場・作業場	4	0	2	0	1	1
	ロ テレビスタジオ等	0	0	0	0	0	0
13	イ 車庫・駐車場	1	1	0	0	0	0
	ロ 飛行機等格納庫	0	0	0	0	0	0
14	倉庫	9	1	0	5	1	2
15	前各項に該当しない事業場	18	5	1	7	1	4
16	イ 複合用途（特定）	3	2	1	0	0	0
	ロ 複合用途（非特定）	1	1	0	0	0	0
16の2	地下街	0	0	0	0	0	0
16の3	準地下街	0	0	0	0	0	0
17	重要文化財等	0	0	0	0	0	0
18	アーケード	0	0	0	0	0	0
計		43	15	4	12	3	9
その他（令別表対象外）		10	6	2	0	0	2
合計		53	21	6	12	3	11
建築 種別	新築	38	10	4	12	3	9
	増築	4	4	0	0	0	0
	改築	1	1	0	0	0	0
	その他（令別表対象外）	10	6	2	0	0	2

中高層建築物の用途別の状況

令和6年3月31日

防火対象物の区分		階数別	計	階 数 別					
				3階	4階	5階	6階	7階	8階
1	イ	劇場・映画館等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	3	2	1	0	0	0	0
2	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場等	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	風俗営業等	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0	0	0	0
3	イ	待合・料理店等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	2	2	0	0	0	0	0
4		百貨店等	2	2	0	0	0	0	0
5	イ	旅館・ホテル等	4	1	0	2	1	0	0
	ロ	共同住宅等	53	36	10	6	0	1	0
6	イ	病院・診療所等	4	1	2	1	0	0	0
	ロ	養護老人ホーム等	10	9	1	0	0	0	0
	ハ	デイサービス等	2	1	1	0	0	0	0
	ニ	幼稚園等	0	0	0	0	0	0	0
7		学校等	27	24	3	0	0	0	0
8		図書館・博物館等	2	2	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気・熱気浴場等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場	1	1	0	0	0	0	0
11		神社・寺院・教会	0	0	0	0	0	0	0
12	イ	工場・作業場	13	9	4	0	0	0	0
	ロ	テレビスタジオ等	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	車庫・駐車場	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飛行機等格納庫	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	3	3	0	0	0	0	0
15		前各項に該当しない事業場	38	23	11	3	0	0	1
16	イ	複合用途（特定）	26	23	0	2	1	0	0
	ロ	複合用途（非特定）	11	11	0	0	0	0	0
16の2		地下街	0	0	0	0	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0	0	0	0	0
17		重要文化財等	0	0	0	0	0	0	0
18		アーケード	0	0	0	0	0	0	0
合 計			201	150	33	14	2	1	1
市町村別	二	戸 市	134	95	25	11	1	1	1
	一	戸 町	37	31	2	3	1	0	0
	軽	米 町	18	14	4	0	0	0	0
	九	戸 村	12	10	2	0	0	0	0

防火対象物定期点検報告制度の状況

令和6年3月31日現在

区 分		市町村別				合 計
		二 戸 市	一 戸 町	軽 米 町	九 戸 村	
対該 象当 物防 火数	収 容 人 員 該 当 (特 定 300 人)	30	14	7	2	53
	特 定 一 階 段 該 当	1				1
	合 計	31	14	7	2	54
防 火 点 検 対 象 物 数	収 容 人 員 該 当 (特 定 300 人)	16	10	3	2	31
	特 定 一 階 段 該 当	1				1
	合 計	17	10	3	2	32
防 火 特 例 対 象 物 数	収 容 人 員 該 当 (特 定 300 人)	2		1		3
	特 定 一 階 段 該 当					0
	合 計	2	0	1	0	3

危険物施設の状況

令和6年3月31日現在

区 分		市町村別				合 計
		二 戸 市	一 戸 町	軽 米 町	九 戸 村	
合 計		144	83	53	44	324
製 造 所						
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1	3		2	6
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	8	5	4	6	23
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1		1	3
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	49	26	13	7	95
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	38	24	14	11	87
	屋 外 貯 蔵 所	1	1			2
小 計		98	60	31	27	216
取 扱 所	給 油 取 扱 所 (自 家 用)	29 (12)	13 (4)	16 (6)	6 (1)	64 (23)
	販 売 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所	17	10	6	11	44
	小 計	46	23	22	17	108

自主防災組織の状況

令和6年3月31日現在

市町村別 区分		二戸市		一戸町		軽米町		九戸村		計	
		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
幼年消防クラブ	幼稚園									0	0
	保育園	1	52			1	27	2	34	4	113
	児童館									0	0
	その他	1	127	3	122			1	24	5	273
	小計	2	179	3	122	1	27	3	58	9	386
少年消防クラブ	小学校	1	21	2	31			1	12	4	64
	中学校									0	0
	地区単位					1	10			1	10
	その他									0	0
	小計	1	21	2	31	1	10	1	12	5	74
婦人防火クラブ	市街地	2	62							2	62
	農山村地域	4	137			29	535	3	39	36	711
	その他									0	0
	小計	6	199	0	0	29	535	3	39	38	773
自主防災組織	町内会 自治会	36	8,519	28	5,488	12	1,054			76	15,061
	その他									0	0
	小計	36	8,519	28	5,488	12	1,054	0	0	76	15,061
合計		45	8,918	33	5,641	43	1,626	7	109	128	16,294

< 警 防 >

通 信 施 設 等 の 状 況

令和6年4月1日現在

通 信 施 設 等 名			設 置 場 所						計	
消 防 救 急 業 務 用 無 線 局	デ ジ タ ル 無 線	固定局（多重）	消防本部、折爪						2	
		基 地 局	基地局	折爪						1
			簡易基地局	奥中山						1
			消 防 本 部	二 戸 消 防 署	一 戸 分 署	軽 米 分 署	浄 法 寺 分 署	九 戸 分 署	計	
	移 動 局	車 載 型	11	5	4	3	3	3	29	
		卓 上 型	1	1	1	1	1	1	6	
		可 搬 型	1	2	1	1	1	1	7	
		携 帯 型	3	9	7	6	6	6	37	
	受 令 機		3	1	1	1	1	1	8	
	署 活 動 系 (400MHZ 帯)		16	33	19	16	15	16	115	
防 災 相 互 波 (150MHZ 帯)		2						2		
市 防 無	町 災 行 政 線	村 政 線	放 送 設 備 (サイレン吹鳴可)						4	
報 知 専 用 電 話 回 線 (固 定 1 1 9 番)		2						2		
" (携 帯 1 1 9 番)		2						2		
電 一 般 加 話 入	電 話 回 線 数		16	9	6	6	6	6	49	
	うち FAX 回 線		4	1	1	1	1	1	9	
	内 線 数	庁 舎 分	30	27	9	9	9	9	93	
		構 内 P H S	4	4					8	
電 直 通	回 線 数	市 役 所 ・ 役 場		1		1	1	3		
		東 日 本 高 速 道 路	1					1		
電 携 帯	携 帯 電 話 回 線 数		2	5	2	2	2	2	15	
	うち 車 載 携 帯 電 話			4	2	2	2	2	12	
帯 衛 星 電 話 携	衛 星 携 帯 電 話 数		5	2	3	3	3	3	19	
	うち 車 載 携 帯 電 話			2	2	2	2	2	10	
庁 内 放 送 装 置			1		1	1	1	1	5	

消防車両等の保有状況

令和6年4月1日現在

	車両名	車名	登録年月	定員	艀装業者名	備考
消防本部	司令車	トヨタ カルディナ	H19. 3	5		4WD
	指揮車(無線中継車)	トヨタ ハイエース	H27. 8	5	オートワークス 京都	4WD
	救助工作車	日野 レンジャー	H25.12	6	テイセン	II型 4WD
	屈折梯子車	日野 プロフィア	R 5. 9	6	モリタ	先端屈折式 25m級
	大型水槽車	日野 プロフィア	H30. 3	3	日本機械	積載水10,000ℓ ポンプ付 後輪2軸駆動
	人員輸送車	トヨタ ハイエース	H24.12	14		乗車定員14人
	資機材搬送車	いすゞ エルフ	H12. 5	3		4WD、クレーン、パワーゲート
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H12. 1	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2
	非常用救急自動車	トヨタ グランビア	H16.12	7	トヨタ テクノクラクト	4WD 4WS
	連絡車 1	スバル XV	R 1. 6	5		
連絡車 2	ホンダ バモスホビオ	H28. 1	4			
二戸消防署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H25. 3	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	消防ポンプ自動車	日野 デュトロ	H31. 2	5	日本機械	積載水800ℓ 4WD ホースカー付
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	H29.10	7	トヨタ テクノクラクト	4WD
	資機材搬送車	トヨタ ハイエース	H19.11	7		4WD
	広報車	トヨタ ランドクルーザー	R 1. 9	5		4WD
一戸分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	R 1.12	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD
	消防ポンプ自動車	三菱 キャンター	H13. 1	6	日本機械	4WD
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	R 6. 2	7	トヨタ テクノクラクト	4WD 緊急消防援助隊登録車両
	広報車	日産 エクストレイル	H19. 9	5		4WD
軽米分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H25.11	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	H28. 1	7	トヨタ テクノクラクト	4WD
	広報車	三菱 デリカD:5	R 6. 2	5		4WD
浄法寺分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H28.11	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	H27. 1	7	トヨタ テクノクラクト	4WD
	広報車	日産 エクストレイル	H21. 8	5		4WD
九戸分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H28. 2	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	H28. 9	7	トヨタ テクノクラクト	4WD
	広報車	トヨタ ランドクルーザー	H29.11	5		4WD

火災による損害状況

令和5年中

区分 市町村	出火件数		焼損面積		損害額（建物）			損害額（林野）
	件数	出火率	建物焼損 床面積	林野焼損 面積	総額 （千円）	一件当り （千円）	1世帯当 り（円）	総額 （千円）
令和5年	29	6.0	854	8	21,832	752.8	949.9	0
二戸市	14	5.7	335	0	4,403	314.5	377.7	0
一戸町	7	6.5	406	0	17,367	2,481.0	3,189.5	0
軽米町	6	7.5	114	6	62	10.3	16.8	0
九戸村	2	3.9	0	2	0	0.0	0.0	0
令和4年	28	5.5	1,618	236	49,381	1,763.6	2,134.5	4,610
令和3年	31	6.0	2,595	0	91,828	2,962.2	3,923.8	0
令和2年	28	5.3	934	1	24,715	882.7	1,056.5	0
令和元年	31	5.7	1,388	88	26,312	848.8	1,120.1	0
平成30年	29	5.4	6,627	412	267,334	9,218.4	11,455.9	2,068
平成29年	26	4.8	1,473	21	78,468	2,545.1	2,835.7	86
平成28年	21	3.8	1,161	90	18,898	1,889.8	808.5	2,694
平成27年	46	8.1	4,642	90	235,240	5,113.9	9,995.3	0
平成26年	35	5.9	2,471	146	51,664	1,476.1	2,190.3	1,636
年平均	30.4	5.6	2,376.3	109.2	86,567	2,950.6	2,764.9	1,109.4

災害通報等受付件数

令和5年中

内訳 覚知別	火災	救急	救助	その他災害	誤報	通報訓練	その他	計
119番専用 電話（固定）	10	1,371	15	43	77	116	222	1,854
119番専用 電話（携帯）	15	796	35	19	180	1	198	1,244
一般加入電話	1	205	1	18	0	0	1	226
警察電話	1	18	13	1	0	0	0	33
駆けつけ通報	0	38	1	1	1	0	5	46
事後覚知	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	17	6	43	0	4	8	79
計	28	2,445	71	125	258	121	434	3,482

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。

時間別火災発生状況

令和5年中

	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	計
0～2	0	1	0	0	1
2～4	1	0	0	0	1
4～6	0	0	0	0	0
6～8	1	1	0	0	2
8～10	2	0	2	0	4
10～12	1	0	2	1	4
12～14	1	1	0	0	2
14～16	2	3	1	1	7
16～18	0	1	0	0	1
18～20	2	0	0	0	2
20～22	2	0	1	0	3
22～24	2	0	0	0	2
不明	0	0	0	0	0
計	14	7	6	2	29

曜日別火災発生状況

令和5年中

	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	計
月曜日	2	1	1	1	5
火曜日	3	0	0	0	3
水曜日	2	0	1	1	4
木曜日	2	3	1	0	6
金曜日	3	2	1	0	6
土曜日	2	1	1	0	4
日曜日	0	0	1	0	1
計	14	7	6	2	29

焼損面積 300 平方メートル以上の建物火災状況(過去10年間)

平成25年～令和5年

年別	出火日時	出火場所	出火建物用途	出火原因	焼損棟数	焼損面積(m ²)	損害額(千円)
令和5年	該当火災なし						
令和4年	該当火災なし						
令和3年	1月22日 2時00分	二戸市 (浄法寺町)	住宅	不明	5	373	5,438
	6月13日 21時05分	二戸市	住宅	不明	9	736	18,442
	8月19日 19時51分	二戸市 (浄法寺町)	工場	屋内配線の短絡により生じたスパークが内壁の木ずりに落下したことにより出火したものと推定。	3	494	46,612
令和2年	7月3日 7時10分	一戸町	一般倉庫	不明	2	423	7,172
令和元年	3月10日 1時30分	九戸村	住宅	反射式ストーブに、付近にあった紙製の可燃物が落下または移動して接触したことにより出火したものと推定。	4	340	10,255
	5月23日 10時20分	二戸市 (浄法寺町)	住宅	不明	4	331	1,632
	11月22日 9時00分	一戸町	住宅	煙突から火の粉が藁に飛び火し着火したものと推定。	5	414	3,669
平成30年	1月23日 3時40分	一戸町	納屋	木箱の中で燐炭が再燃し着火。そこから建物へ延焼拡大したものと推定。	5	397	3,607
	6月26日 13時20分	二戸市	物置	木の枝などのゴミを焼却中に、行為者がその場を離れたうちに延焼拡大したものと推定。	7	730	8,573
	7月3日 15時40分	二戸市	住宅	配線器具の短絡によって生じた銅粒状の短絡痕が段ボール箱に落下することで着火。そこから周囲の可燃物へ延焼拡大したものの。	5	458	7,467
	7月7日 14時00分	軽米町	住宅	取灰の余熱で周囲の可燃物に着火し、その炎が延焼拡大したものの。	2	602	18,770
	7月16日 1時30分	九戸村	住宅	使用したマッチを完全に消火しないで捨てたため、周囲にあった燃焼物へ着火し、また扇風機の風の力を受け延焼拡大したものの。	1	336	11,511
	10月5日 15時15分	九戸村	養鶏舎	絶縁性能が低下した配線が異極間で短絡、付近のほこりや壁面の柱に着火し、延焼拡大したものと推定。	1	513	5,136
平成29年	4月2日 17時30分	一戸町	住宅	仏壇供養の際に使用した、ロウソクの炎が不祝儀袋等に着火し、建物全体へ延焼拡大したものの。	3	340	21,589
平成28年	1月12日 15時55分	一戸町	養畜舎	ガストーブが建物北側に倒れ、炎が扉に着火。扉に着火した炎が延焼拡大したものの。	1	497	6,655
平成27年	3月13日 6時15分	軽米町	養畜舎	不明	2	1,064	102,676
	5月8日 15時20分	軽米町	物置	建物の所有者が自ら施工した屋外配線が経年劣化により短絡し、それによって生じた火花から出火及び延焼拡大したものの。	5	500	3,202
	6月25日 23時20分	九戸村	店舗併用住宅	不明	2	461	66,049
平成26年	12月15日 4時00分	一戸町	作業場	電源コード等の劣化による無炎燃焼から有炎燃焼へ移行したものの。	1	391	7,269
平成25年	1月10日 15時30分	一戸町	店舗併用住宅	薪ストーブの取り灰を放置。	4	593	35,590
	1月21日 16時40分	九戸村	作業場併用住宅	火鉢の炭火がはね、付近の可燃物に着火し延焼拡大したものの。	1	578	6,284
	1月30日 17時00分	二戸市	住宅	不明	1	335	7,309
	5月22日 16時15分	軽米町	おがくず倉庫	ごみ焼きから飛火し建物へ延焼拡大したものの。	4	501	7,719

過去の林野火災（焼損面積100a以上）

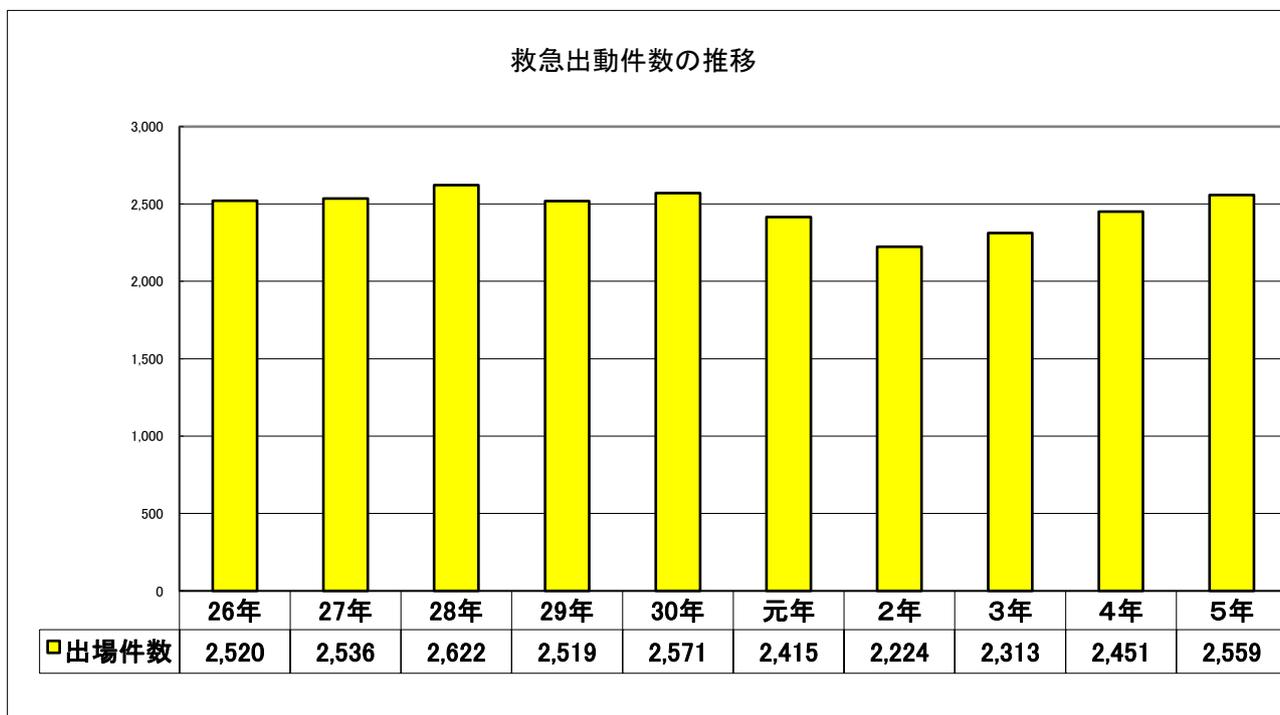
平成10年～令和5年

年別	出火日時	出火場所	気象状況				出火原因	焼損面積 (a)	損害額 (千円)
			天候	風向	風速 (m/s)	湿度 (%)			
令和4年	5月6日 12時30分	軽米町	晴	東	4	44	枯草焼きが風に煽られ付近の枯草及び山林に延焼拡大したもの。	212	2,860
平成30年	5月16日 10時00分	一戸町	曇	南西	1	44	たばこの投げ捨てにより延焼拡大したものと推定。	412	2,068
平成24年	6月13日 21時05分	二戸市	晴	南南西	3	11	木の枝を焼却中に付近の枯れ草に延焼拡大したもの。	270	3,241
平成20年	3月22日 8時40分	軽米町	晴	南	0	40	枯れ草を焼却中付近の枯れ草に燃え移り延焼拡大した。	195	0
	4月16日 11時00分	二戸市	晴	南西	3	18	枯れ草を焼却中付近の牧草に燃え移り延焼拡大した。	300	1,012
	4月17日 13時25分	二戸市	晴	北	5	20	不明	120	354
平成19年	4月10日 10時00分	軽米町	曇	南	2	45	墓の線香が風により枯れ草に燃え移り山林へ延焼拡大した。	103	0
平成14年	4月29日 15時50分	軽米町	晴	東	2	33	不明	180	4,352
平成13年	4月11日 9時00分	二戸市	晴	南東	1	53	枯れ草を焼却中付近の下草に延焼拡大した。	140	544
平成11年	6月14日 15時50分	一戸町	晴	西北西	3	11	タバコ火が付近の枯れ草に着火し延焼拡大した。	654	5,466
平成10年	4月21日 14時05分	軽米町	晴	南西	5	20	不明	14,654	321,089

< 救 急 >

年 別 救 急 出 動 状 況 (過 去 10 年 間)

種別 年別	事 故 種 別														合 計
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
令和5年	10	0	3	106	37	4	328	6	22	1,790	248	1	0	4	2,559
令和4年	20	0	1	95	23	5	367	1	24	1,674	231	0	0	10	2,451
令和3年	13	0	1	90	23	7	298	2	23	1,593	252	0	0	11	2,313
令和2年	9	0	3	95	20	7	279	2	12	1,564	226	0	0	7	2,224
令和元年	1	0	0	143	21	12	319	4	16	1,634	255	0	0	10	2,415
平成30年	10	0	1	138	46	6	333	6	21	1,710	290	1	0	9	2,571
平成29年	15	0	0	145	27	14	327	7	35	1,675	261	0	0	13	2,519
平成28年	6	5	2	142	25	18	349	12	25	1,754	271	0	0	13	2,622
平成27年	10	0	4	143	27	5	329	3	29	1,692	283	0	0	11	2,536
平成26年	5	1	0	128	14	13	315	4	29	1,702	297	0	0	12	2,520



月別救急出動状況

令和5年中

種別 月	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
1月	1	0	0	8	3	1	32	1	2	168	17	233
2月	2	0	0	6	0	0	25	0	3	131	29	196
3月	0	0	0	12	3	0	22	1	1	129	19	187
4月	2	0	0	4	1	1	24	0	1	135	23	191
5月	1	0	0	10	4	0	21	0	0	112	29	177
6月	0	0	0	9	2	0	16	0	1	132	23	183
7月	0	0	0	5	4	1	37	0	1	135	18	201
8月	1	0	1	15	10	0	40	0	3	223	15	308
9月	0	0	1	12	1	0	39	1	3	138	20	215
10月	1	0	0	6	1	1	24	1	3	159	17	213
11月	0	0	1	10	3	0	22	2	3	142	26	209
12月	2	0	0	9	5	0	26	0	1	186	17	246
計	10	0	3	106	37	4	328	6	22	1,790	253	2,559

曜日別救急出動状況

令和5年中

種別 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
月曜日	2	0	1	13	6	0	49	0	5	247	49	372
火曜日	1	0	0	16	8	1	38	0	1	258	34	357
水曜日	2	0	0	12	1	0	58	1	2	257	52	385
木曜日	1	0	0	24	6	0	44	0	4	260	37	376
金曜日	3	0	1	18	11	0	38	3	3	267	45	389
土曜日	1	0	1	16	5	1	39	1	5	228	23	320
日曜日	0	0	0	7	0	2	62	1	2	273	13	360
計	10	0	3	106	37	4	328	6	22	1,790	253	2,559

年齢区分・傷病程度別搬送人員状況

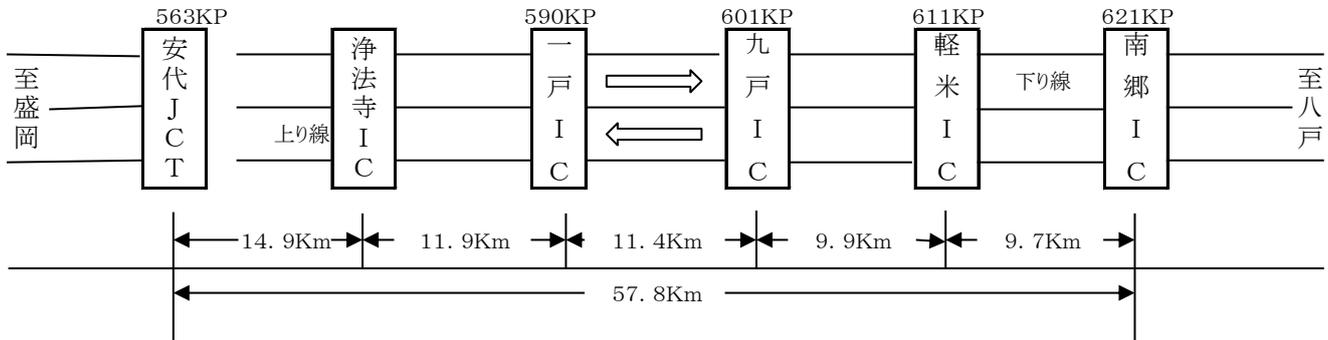
令和5年中

年齢区分	事故種類	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
	傷病程度												
新生児 生後28日未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	軽症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳幼児 28日以上 7歳未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10	15
	軽症	0	0	0	2	0	0	4	0	0	23	0	29
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	2	0	0	4	0	0	28	10	44
少年 7歳以上 18歳未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	4
	中等症	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7	4	13
	軽症	0	0	0	0	0	1	6	1	0	12	0	20
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	1	0	1	9	1	1	19	5	37
成人 18歳以上 65歳未満	死亡	0	0	0	3	1	0	1	0	1	14	0	20
	重症	0	0	1	2	4	0	5	0	1	15	16	44
	中等症	0	0	0	8	9	0	11	1	1	74	30	134
	軽症	0	0	0	33	19	3	38	1	0	191	1	286
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	1	46	33	3	55	2	3	294	47	484
高齢者 65歳以上	死亡	0	0	1	1	0	0	13	1	2	100	0	118
	重症	1	0	0	2	0	0	15	0	1	160	53	232
	中等症	2	0	1	9	3	0	70	0	1	512	116	714
	軽症	0	0	0	24	1	0	148	2	1	564	15	755
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3	0	2	36	4	0	246	3	5	1,336	184	1,819
合計	死亡	0	0	1	4	1	0	14	1	3	114	0	138
	重症	1	0	1	5	4	0	21	0	3	175	70	280
	中等症	2	0	1	17	12	0	83	1	2	598	160	876
	軽症	0	0	0	59	20	4	196	4	1	790	16	1,090
	小計	3	0	3	85	37	4	314	6	9	1,677	246	2,384

管轄する高速自動車道の概要

【八戸自動車道 安代JCT～南郷IC間(563kp～621kp) 上・下線】

* 供用開始 一戸IC～八戸IC間 昭和61年11月27日
 一戸IC～安代JCT間 平成元年 9月 7日



高速自動車道における事故等の発生状況

令和5年中

NO	区分	発生日 覚知時間	事故発生場所	出場車両	事故等の概要
1	交通	2月2日 10:38	八戸自動車道 上り線 579kp付近	一戸救急、一戸タンク 二戸救助	八戸自動車道上り線を走行中のNEXCO東日本パトロールカーに後方を走行していた4トントラックが追突したものの、1名搬送。
2	火災	2月14日 11:19	八戸自動車道 上り線 二戸PA内	一戸救急、一戸タンク 二戸指揮、二戸水槽	八戸自動車道上り二戸パーキング内で発生した大型ローリーの車両火災。原因は軸受けの金属摩擦によるもので、負傷者は無し。
3	交通	3月2日 14:22	八戸自動車道 下り線 600.2kp付近	一戸救急、一戸タンク 二戸救助	八戸自動車道下り線を走行中の乗用車が圧雪路面でスリップし、法面へ乗り上げた後、本線上に転覆したものの、1名搬送。
4	急病	3月26日 16:11	八戸自動車道 下り線 581kp付近	浄法寺救急、浄法寺タンク	八戸自動車道下り線で異常走行(蛇行)していた大型トラックを目撃した後続車両の運転手が救急要請したものの、現場付近に該当車両は見当たらず、引き揚げとなる。
5	交通	5月4日 21:15	八戸自動車道 上り線 572kp付近	浄法寺救急	八戸自動車道上り線を走行中の大型バイクがハンドル操作不能となって横転し、運転手が負傷したため救急要請したが、運転手が救急搬送を拒んだため、不搬送となる。
6	交通	8月5日 0:27	八戸自動車道 下り線 587kp付近	浄法寺救急、二戸救急 二戸救助	八戸自動車道下り線を走行中の乗用車による単独事故。運転手が車内で脱出不能となり、救出後、搬送したものの、1名搬送。
7	急病	8月13日 17:10	八戸自動車道 下り線 二戸PA内	浄法寺救急	八戸自動車道下り線を走行中、運転手が全身の震えと意識障害を訴えたため、路側に緊急停車し、救急要請したものの、1名搬送。
8	交通	8月19日 13:42	八戸自動車道 上り線 591kp付近	軽米救急、九戸救急 二戸救助、九戸タンク	八戸自動車道上り線を走行中に、ハンドル操作が不能となり中央分離帯へ衝突した交通事故で、傷病者4名を搬送したものの、1名搬送。
9	労働災害	8月31日 10:48	八戸自動車道 上り線 580.3kp付近	一戸救急	道路工事作業中の作業員が体調不良を訴えたため、救急要請したものの、(熱中症疑い) 1名搬送。
10	交通	9月10日 8:23	八戸自動車道 下り線 617.7kp付近	軽米救急、軽米タンク	八戸自動車道を走行中の大型バイクがハンドル操作を誤り転倒。約100m滑走した事故。1名搬送。
11	急病	11月14日 16:44	八戸自動車道 下り線 580.4kp付近	浄法寺救急、浄法寺タンク	八戸自動車道下り線を走行中の普通乗用車の運転手が、運転中に突然意識を消失し、路肩の工事用ガードレールに衝突したものの、1名搬送。

高速自動車道における救急活動状況（過去10年間）

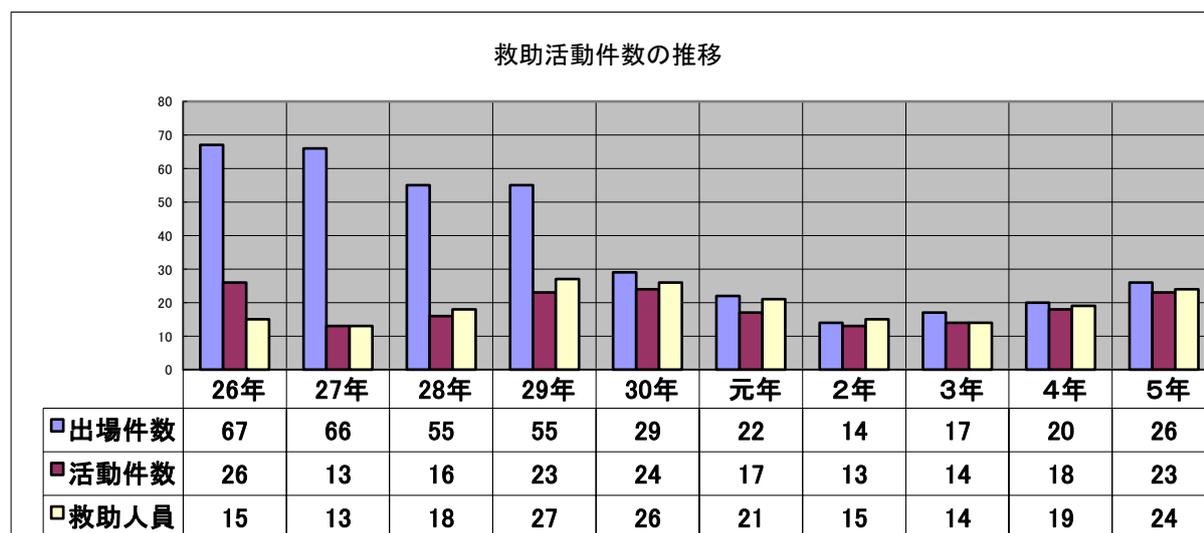
平成26年～令和5年

年 度 別	種 別	交 通	急 病	一般負傷	その他	計
	令 和 5 年	出 動 件 数	7	2	0	2
搬 送 件 数		6	1	0	1	8
搬 送 人 員		9	1	0	1	11
令 和 4 年	出 動 件 数	2	3	0	2	7
	搬 送 件 数	1	2	0	0	3
	搬 送 人 員	1	2	0	0	3
令 和 3 年	出 動 件 数	3	0	0	1	4
	搬 送 件 数	3	0	0	0	3
	搬 送 人 員	3	0	0	0	3
令 和 2 年	出 動 件 数	2	2	0	1	5
	搬 送 件 数	2	2	0	0	4
	搬 送 人 員	2	2	0	0	4
令 和 元 年	出 動 件 数	3	2	1	0	6
	搬 送 件 数	3	2	1	0	6
	搬 送 人 員	3	2	1	0	6
平 成 30 年	出 動 件 数	5	1	0	0	6
	搬 送 件 数	3	1	0	0	4
	搬 送 人 員	3	1	0	0	4
平 成 29 年	出 動 件 数	17	3	0	1	21
	搬 送 件 数	11	3	0	0	14
	搬 送 人 員	13	3	0	0	16
平 成 28 年	出 動 件 数	6	2	0	0	8
	搬 送 件 数	3	1	0	0	4
	搬 送 人 員	3	1	0	0	4
平 成 27 年	出 動 件 数	7	2	0	0	9
	搬 送 件 数	5	1	0	0	6
	搬 送 人 員	7	1	0	0	8
平 成 26 年	出 動 件 数	8	4	0	0	12
	搬 送 件 数	7	3	0	0	10
	搬 送 人 員	8	3	0	0	11

< 救 助 >

年 別 救 助 活 動 状 況 (過 去 1 0 年 間)

年 別	事故種別 区 分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	機 械 事 故 に 由 る	よ 建 る 物 事 等 に	酸 ガ 欠 ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 事 他 の	計
		建 物	建 物 以 外									
令 和 5 年	出 動 件 数	5		10	3	1					7	26
	活 動 件 数	5		9	3	1					5	23
	救 助 人 員	5		9	3	2					5	24
令 和 4 年	出 動 件 数	3		9	1		1				6	20
	活 動 件 数	3		8	1						6	18
	救 助 人 員	4		9	1						5	19
令 和 3 年	出 動 件 数	5		3	1		2				6	17
	活 動 件 数	5		2	1		1				5	14
	救 助 人 員	6		2	1		1				4	14
令 和 2 年	出 動 件 数	3		5	3						3	14
	活 動 件 数	3		5	2						3	13
	救 助 人 員	4		6	2						3	15
令 和 元 年	出 動 件 数	2		14	1		2	1			2	22
	活 動 件 数	2		10	1		1	1			2	17
	救 助 人 員	2		14	1		1	1			2	21
平 成 30 年	出 動 件 数	2		15		1	1	4			6	29
	活 動 件 数	2		12		1		3			6	24
	救 助 人 員	2		13		5		2			4	26
平 成 29 年	出 動 件 数	3		35			7				10	55
	活 動 件 数	3		10			4				7	24
	救 助 人 員	3		12			4				8	27
平 成 28 年	出 動 件 数			42	2	5	4				2	55
	活 動 件 数			9		5	1				1	16
	救 助 人 員			9		7	1				1	18
平 成 27 年	出 動 件 数			51	4		3		1		7	66
	活 動 件 数			7	2		1				3	13
	救 助 人 員			7	2		1				3	13
平 成 26 年	出 動 件 数	10	4	42		3		2			6	67
	活 動 件 数	10	4	6		2					4	26
	救 助 人 員	2		7		2					4	15



署・分署別救助活動状況

令和5年中

署分署別		事故種別		交通事故	水難事故	自然災害等	風水災害等	機械による事故	建物等による事故	ガス欠事故及び	破裂事故	その他の事故	計
		火建物	災建物以外										
二戸消防署	出動件数	1		3	2							4	10
	活動件数	1		2	2							4	9
	救助人員	1		2	2							4	9
一戸分署	出動件数	4		4	1							2	11
	活動件数	4		4	1							0	9
	救助人員	4		4	1							0	9
軽米分署	出動件数			1									1
	活動件数			1									1
	救助人員			1									1
浄法寺分署	出動件数					1							1
	活動件数					1							1
	救助人員					2							2
九戸分署	出動件数			2								1	3
	活動件数			2								1	3
	救助人員			2								1	3
計	出動件数	5	0	10	3	1	0	0	0	0	0	7	26
	活動件数	5	0	9	3	1	0	0	0	0	0	5	23
	救助人員	5	0	9	3	2	0	0	0	0	0	5	24

事故発生場所別救助活動状況

令和5年中

事故発生場所			火災		交通事故	水難事故	自然災害等	機械による事故	よ建 る物 事等 故に	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	その 他 の 事 故	計	
			建 物	建 物 以 外										
屋 内	住居	出動件数	5									1	6	
		活動件数	5										1	6
		救助人員	5										1	6
	その他の屋内	出動件数												0
		活動件数												0
		救助人員												0
屋 外	道	高速 自動車道			1								1	
		活動件数			1								1	
		救助人員			1								1	
	路	その他の 道 路	出動件数			6							1	7
		活動件数			5								1	6
		救助人員			5								1	6
	水 面	内水面	出動件数				1							1
			活動件数				1							1
			救助人員				1							1
外水面		出動件数												0
		活動件数												0
		救助人員												0
山 岳	出動件数											1	1	
	活動件数											0	0	
	救助人員											0	0	
その他の屋外	出動件数			3	1	1						4	9	
	活動件数			3	1	1						3	8	
	救助人員			3	1	2						3	9	
地 下	出動件数												0	
	活動件数												0	
	救助人員												0	
そ の 他	出動件数				1								1	
	活動件数				1								1	
	救助人員				1								1	
計	出動件数	5	0	10	3	1	0	0	0	0	0	7	26	
	活動件数	5	0	9	3	1	0	0	0	0	0	5	23	
	救助人員	5	0	9	3	2	0	0	0	0	0	5	24	

署・分署別救助出動人員状況

令和5年中

署分署別		事故種別		交通事故	水難事故	自然災害等	風災	機械による事故	建物等による事故	酸ガス事故及び	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外										
二戸消防署	救助隊	17		30	10							13	70
	消防隊	12		6	12							8	38
	救急隊	3		16	6							12	37
一戸分署	消防隊	41		11	6							13	71
	救急隊	18		19	3							6	46
軽米分署	消防隊			2									2
	救急隊			6									6
浄法寺分署	消防隊												0
	救急隊					3							3
九戸分署	消防隊			7								3	10
	救急隊			12								3	15
計		91	0	109	37	3	0	0	0	0	0	58	298

署・分署別救助活動人員状況

令和5年中

署分署別		事故種別		交通事故	水難事故	自然災害等	風災	機械による事故	建物等による事故	酸ガス事故及び	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外										
二戸消防署	救助隊	11		15	10							9	45
	消防隊			3	12							8	23
	救急隊			6	6							6	18
一戸分署	消防隊	13		8	6								27
	救急隊			10	3								13
軽米分署	消防隊			2									2
	救急隊			6									6
浄法寺分署	消防隊												0
	救急隊					3							3
九戸分署	消防隊			6								3	9
	救急隊			12								3	15
計		24	0	68	37	3	0	0	0	0	0	29	161